



伊藤音次郎日記

1919(大正8)年

文字データ作成: 一般財団法人 日本航空協会 2018(平成30)年6月

* お気づきの点などございましたら、ご教示のほどお願い申し上げます。

一般財団法人日本航空協会

航空遺産継承基金事務局

〒105-0004

東京都港区新橋 1-18-1

電話 03-3502-1207

ファクス 03-3503-1375

電子メール isan@aero.or.jp

禁無断転載 © 一般財団法人日本航空協会

▲▼0ページ▲▼

大正八年

▲▼1ページ▲▼ 一月

昨年度引ツギ事業

製作所基楚(ママ)確定 陸海イヅレカ注文ヲ取ルコト 日本航空事業ノ先鞭ヲ付ケルコト

一月

飛行學校設立發表 リバーテイー輸入確定セシムルコト

二月

同開始 宙返機完成 陸海方面運動開始

三月

▲▼2ページ▲▼ 大正8(1919)年1月1日(水)

天気 晴後曇リ

時計ガナイノデ何時ダカ暗イ内ニ起キテお祝ヲ開始シタ 酒ヤ、廻ツタ頃東天紅ヲ流シ紫雲ト相英(ママ)シ美クシイ元旦デアッタ 後氏神ニ初メテ参詣シタ 荒レテハ居ルガ中々立派ナお宮デアッタ 一枚写真ヲ取ル

晝頃ヨリ風出テ南ヨリ吹ク 午後次第ニ増シタ 夜ハ暴風雨ト変ズ。十一時頃花カルタ中山県ガ格納庫ヲ見ニ出タト思フト火ノ子ガ飛ブトサケンダノデスグ飛出スト時々スート火ノ子ガ出ルガドコカラ來ルノカ火元ガ分ラナイ ヨク、見ルト裏ノ原デ昨日ゴミヲ焼イタ處ダ スグ行キテ吹き出スロヲフサキ水ヲヨブ 下ハズツト火ニナツテ居タガ幸ヒ雨ノ爲メニヨカッタ

今年ハ■イイナコトニモ注意セヨトノイマシメダロー 一時床ニ入ル

▲▼3ページ▲▼ 大正8(1919)年1月2日(木)

天気 曇リ

先月廿五六日頃ヨリ待侘ビタ小供ガ今日ハイヨ、出ソウダト朝カラノ話シニ晝ノ汐時ト思ツタガ夜ニナツタ 十一時頃イヨ、産氣ツイテ産婆ヲ呼ビニヤル 刻一刻苦痛

ヲ増スラシカッタ 産婆來テ後チハ引ツゞキノ花ヲ引キナガラ待ツ ギヤー、ト産声
ヲ聞イテ時計ヲ見ルト丁度〇時三十分過ぎデアッタ 二日ハ三リンボーデアッタガ僅
カデノガレタ 今年ハヨイ年ヨイ日ニ生レテ呉レテ大ニ幸多カルベク予言サレタ様ニ嬉シカ
ッタ

二時半床ニ入ル

晝間ハ稲垣氏來ル予定ノ處アス行クトノ電報ガ來タ 初仕事ハ昨夜ノアラシデ飛行機
手入レノ爲メ出來ナカッタ

山県佐野晝前上京ス

▲▼4ページ▲▼ 大正8(1919)年1月3日(金)

天気 快晴

三時就床 朝一時目ハ醒メタガ又眠ツテ十一時起床

午後稲垣氏來 共三時頃ヨリ千葉白戸二年始ニ行キ夜帰り少時花ヲ引キ床ニ入ル
信太郎ハオトナシク稲毛ノ母ト床ニツイタ

▲▼5ページ▲▼ 大正8(1919)年1月4日(土)

天気 晴風

本日ヨリ仕事ヲ初ム 稲垣氏上京 余ハ上京ノ予定ナリシモ中止シテ帝国飛行ノ原稿
ヲ書ク

夜花

▲▼6ページ▲▼ 大正8(1919)年1月5日(日)

天気 晴

七時起床 八時半ニテ上京 太田へ配電盤ノフレンジヲ注文。佐藤ニテ五分木捻二個ト
ボールト一分五ノ二十本求メテ帰ル 内外興業会社ニ大江氏ヲ訪フ 不在 鳥飼ニテ
晝食後河村ニ行キ活動ヲ見天金ニテ母子連レテ夕食 満員ニテ閉口 スグ帰ル
早朝稲垣帰場

▲▼7ページ▲▼ 大正8(1919)年1月6日(月)

天気 快晴

終日原稿ニインガシク帝国飛行へ送ル

一日練習機ヲナス

▲▼8ページ▲▼ 大正8(1919)年1月7日(火)

天気 晴

本日ノ記事十七ノ處ニアリ

八時五十分ニテ上京 太田佐藤ニヨリ鳥飼ニ行キ大江氏ニ電話スル スグ來テ呉レトノ
コトニ行ク 今朝旅行ヨリ帰りタリトノコト 行方少時話シノ後ガストムニ同行スルコトニ
ナリ一寸余リ鳥飼ニ帰り晝食後一時過ギヨリ同行 宮本茂堂氏宮本喜與蔵両氏ニ面
會 大江氏大ニ余ノ爲メニ辨護サレ種々協議 二時間ニ渡リ宮本組ノ飛行機部主任ノ
名儀(ママ)トナリ宮本氏スベテノ外交ヲナシ余ハ機ノ製作ニ熱中シ待金ノ心配モナクナ
ルコトニナツタ 之レハ大江氏ノ案デ誠ニ好都合デアッタ
阿部ニ立寄り鳥飼ニ寄ツテ帰場

▲▼9ページ▲▼ 大正8(1919)年1月8日(水)

天気 快晴

稲垣氏宙返設計 今日ヨリ仕事初メ 青島バツンヲ初メル
正午鳥飼氏プツシャーノ買手ツレテ來ル 京都ニテ飛行會ヲヤル由 十五日頃當地ニ
帯(ママ)在 同乗飛行ヲ行フ由
山県飛行 佐野ニ回往復滑走 杉本操縦同乗滑走
自分ハ阿部へノ原稿書キ初メル

▲▼10ページ▲▼ 大正8(1919)年1月9日(木)

天気 曇リ後雨

午前阿部ノ原稿ヲ送り午後眞写真 工場ヲ数枚取ル 川辺君ヨリ年賀状來 非常ニ
ナツカシク長々ト手紙ヲ書イテ出シタガ在ハルビンダケデ他ハワカラナイノデ領事館止
メニヤル

中川時次郎氏朝カラ夕方方迄居タ

千葉ノ練習生中崎山、石川ニ名午後來ル

大坂へ銅力眞中(ママ)ノ切レ板注文ヲ發ス

▲▼11ページ▲▼ 大正8(1919)年1月10日(金)

天気 雨

手紙二三書キ練習所ノ規束(ママ)書ヲ作ル

午後テアブリヲ作ル
夜早ク床ニツク
山県午後帰ル
奈良原サンカラ年賀状ガ來タ

▲▼12ページ▲▼ 大正8(1919)年1月11日(土)

天気 曇少雨
七時半起床 支出ヲツケ手アブリヲ作ル
夜花

▲▼13ページ▲▼ 大正8(1919)年1月12日(日)

天気 曇リ
大坂其他二三手紙出ス
規則書出來写真ト共ニ阿部へ送ル
飛行界、スピード、輪業へ各写真送ル
午後大坂へ送ル写真ヲ焼ク

▲▼14ページ▲▼ 大正8(1919)年1月13日(月)

天気 晴
大坂へ写真送ル 之レデー寸今月行事中ノ半分ガ終ツタ
宮内來 夕方帰ル
大口來 エンジン廻シ方ヲ聞キニ來タ

▲▼15ページ▲▼ 大正8(1919)年1月14日(火)

天気 晴
飛行協会ニテ民間飛行家名簿ヲ作ルニ付自分ト山県ヲ最初ニツケタ。尚十七日頃高
木氏來場ストノ返信阿部ヨリアリタリ
山県午後買物ノ爲上京 自分ハ白戸ノアンザニーヲ一寸設計

▲▼16ページ▲▼ 大正8(1919)年1月15日(水)

天気 曇リ夜晴

午前中新聞ヲオナスベキヲナシ十時頃ヨリ稲垣山県佐野青島平居高橋杉本ヲ連レ稲毛
ヘ行き新年会ヲ開キ皆ハ夕方帰ル 余ハアンマヲ取りオクレテ夜十一時帰宅

▲▼17ページ▲▼ 大正8(1919)年1月16日(木)

天気 晴

山県練習 急旋回エレベーター取ルコトヲワスレテアトデ随分考ヘテ居タ
プッシュヤーノ写真三枚取ル インディアン廻轉ヨシ
午後アンザニーノ機体設計成ル

▲▼18ページ▲▼ 大正8(1919)年1月17日(金)

天気 快晴

此ノ日記ハ七日ノ間違ヒ 今日ノ分七日ニアリ

八時半ニテ上京 スグ鳥飼ニ行ク 山県今マ帰ツタトコロダトノコト スグ大江氏ヲ訪フ
旅行中トノコトニガストムニ宮本氏ニ訪フ 來場ヲ乞ヒ様子ヲ聞ク 解禁ナリ次第クワ
シク手紙來ルコトニナツテ居ルトノコトデアッタ 大ニ安心シテ帰ル
山県初飛行 写真ヲ取ル

▲▼19ページ▲▼ 大正8(1919)年1月18日(土)

天気 曇後雨曇後晴

午前昨日ノ禮状ト宮本組ヘ飛行機部主任承諾書ヲ送ル
夜本ヲ讀ンダリシタ

インディアン三百五十瓦ヨリ七十瓦迄引イタ

今日ハ日ガ悪イトテ試飛行ハ明日ニナツタ

夜心バカリノ祝杯ヲ皆ト共ニシタ

▲▼20ページ▲▼ 大正8(1919)年1月19日(日)

天気 雨

終日雨 午前仕事台ノ据付ケヲナシ午後パイソノ取付ヲヤル
配電盤ヤット出來テ來タ 稲垣氏午後帰ル

▲▼21ページ▲▼ 大正8(1919)年1月20日(月)

天気晴

立花ヨリ飛行倶楽部主催ニテローニ飛行会ヲヤルコトヲ云ツテ來タ ソシテ會ヒタイト云フノデ行ツテ見ルコトニシタ

プッシュヤローノ試運轉ガアルノデソレヲ見テカラ出カケタ 調子ハヨカッタガ前ガ軽ル過ギルノデテールニ角度ヲ付ケルコトニシタ

二時四十四分ニテ稲垣氏ト上京 散髪後立花ト中外社ニテ會フ。櫛引ガスベテヲヤツテ倶楽部ハ名ダケカスノダト思タラ倶楽部デ全部ヤルノダソウダ 一日二千円ノ由 寄付ト入場料ノ由 一万円位集マルダロウナド云ツテ居タ 兎ニ角今トナツテハ何ントモ仕方ナク氏モ井上氏ト二人デ何ニモカモヤル意気込ミラシイノデ自分モイソガシイカラ、會談五六分デスグ帰ツテ明日行クコトニシタ

▲▼22ページ▲▼ 大正8(1919)年1月21日(火)

天気晴

今日ハ練習生二名猪口ト磯西ト申込ミアリタリ

午後余ノカワリニ山県上京セシム

阿部ヨリ鳥飼問題ノ調テイヲ頼ンデ來タガ昨日ノ期限ダトノコトデナンニモナラナカッタ

▲▼23ページ▲▼ 大正8(1919)年1月22日(水)

天気晴

山県午後帰ル ロー明日ニナリタル由 倶楽部ノ主催ハ記者團ノ反対ニテ中止ニナリソウダト阿部ヨリノ通知

京都ノ中川來。京都飛行至急トナリ午後鶴羽分解ス

▲▼24ページ▲▼ 大正8(1919)年1月23日(木)

天気晴

練習機手傳フ

正午稲垣氏來

磯西來 明日ヨリ來ル

▲▼25ページ▲▼ 大正8(1919)年1月24日(金)

天気晴

中川帰京ス
山県上京 夜帰ル
磯西來 格納庫ニ止メル
練習機試運轉仕様ト思ツタララジエーターガモツテ今日ハ出來ナカッタ
大坂ヨリ初着來ル

▲▼26ページ▲▼ 大正8(1919)年1月25日(土)

天気 雨

山県出發 青島高橋同行
ラジエーター修理

▲▼27ページ▲▼ 大正8(1919)年1月26日(日)

天気 晴

八時半ニテ上京 赤羽ニ直行ス 荷造リノマ、受取リ金二百円渡 宗里氏ニ晝食ヲ馳
走ニナツテ帰ル
明治運送店ニタノンデ王子ニテ熊木氏トワカレ目黒ヨリ都筑氏ヲ訪フ 不在 妻君ニタ
ノンデニノ橋ノ原ニ立寄り阿部ニ徒歩ニテ行ク 途中数見氏ニ會フ 共ニ阿部ニ行ク。
自動車學校ヲ飛行機ノ中ニ入レロトテ其コトニツキ話シタイカラトノコトニテ六時半イ
ケスニ行クコトヲ約シテ鳥飼ニテ平居ニ會ヒ金受取リ熊木氏ニアト金百円支拂ヒ受取ヲ
取ラズグ生洲ニ行キ九時半自動車ニ送ラレテ帰ル。明日上京辻腹案ヲ作ツテ居イテ
貰フコトニシテ分レル 終列車中徳永氏ニ會フ ヨツテ居タモノダカラ大ニ吹キマクル

▲▼28ページ▲▼ 大正8(1919)年1月27日(月)

天気 雪

寒イ日デアッタ 昨日ニサイクル試験ヨクナカッタノデ今朝一寸廻シテ見ル ドウモカ
ーブレーターガ小イサイニチガイナサソウナノデ中止シ十時半ニテ上京 鳥飼氏ノホ
ールスカットトアンザニーノカーブレーターヲ借りテ帰ル 櫛引事務所ニテ知覧立花井上
氏ニ會フ 一日無料公開ヲ大ニ運動中デアッタ。其ノアトデゴームニテ東京大坂間飛
行ヲヤリタイ 決行者ハ僕ト云フコトニ内定シテ居タノデ余ガ山県ニヤラセルコトニナル
カ兎ニ角練習飛行ヲヤルコトデスベテヲ承諾シテ居イタ 打合セノ爲メ近日來テ呉レト
ノコトニ明後日ト約シタ

阿部來 共ニ大江氏ニ過日ノ礼ニ立寄り宮本組ヘモ寄り両宮本氏ニ會フ 陸軍學校ノ
方ヲ引受ケラレルダロトノコトデアッタ。佐藤ヘボールト注文 帰場

▲▼32ページ▲▼ 大正8(1919)年1月28日(火)

天気 晴

ホールスカットノストロンバーダヲ付ケテ試験ス。調子ヨク出タ時ニハ二百廿瓦引イタソ
ウダガ水ノモリガハゲシイノト配電盤ガコスルノデ中止シテ修理ス
午後福永來 泊ル

山県昨日京都ニテ飛行セリト

▲▼30ページ▲▼ 大正8(1919)年1月29日(水)

天気 曇リ

ニサイクル試験ス カーブレーターハンザニーノモノヲ使用 ヤ、ヨサソウナリシニ少時
ニシテ停止ス 原因調査ノ結果マグネトノスリップリングガ破レテ居タ 分解ス
明日メアアヲ取り寄セルコトニシタ
夜山県一行帰ル 中川ノ替玉飛行一件大笑イノ種ナリ

▲▼31ページ▲▼ 大正8(1919)年1月30日(木)

天気 雪

早朝起キテ三枚写真ヲ取ル ウマク出來テ居タ アマリ雪ガハゲシイノデ佐野一人マダ
ネトヲ取りニヤル 余ハ晝食後上京 車ガナイノデ稲垣氏ト二時四十四分ニテ行クス
グ河村ニ行キ後チツキジノ精養軒ニ行ク 立花井上ハ來ナカッタ 大分評バンガ悪ルイ
様ダ ソノ精力モ知レナイ 中沢君モ大分フンガイシテ居タ
六時ヨリ柴興ニ入り終ツテ食堂ハ開カル 閑院総裁ノ宮殿下モ覽場アリ 大隈会長ケツ
席 渋沢男代ツテ挨拶ヲセラル
阿部二四十五円貸ス 明日ヲシノグ爲メ 馬鹿々々シカッタガドウニカナルダロウ
終列車ニテ徳永氏ト共ニ帰ル
車ハ居ラズ停車場前ニテ花(ママ)緒ハキレル ヤット帰場 食事シテ床ニ入ル

▲▼32ページ▲▼ 大正8(1919)年1月31日(金)

天気 曇リ

プッシュヤー直線ニ回試運轉 操縦山形
グレゴア分解
メアア間ニ合フ 取付ケ部ヲ作ル

照井來 二日ヨリ練習初メルコトニス

▲▼33ページ▲▼ 補遺

今月ハ予定通り進行
陸軍方面ハ宮本組
發動機取寄セハガストム
練習所發表ハゼスピードへ
ソレゾレ終ル

▲▼34ページ▲▼ 二月

練習所細則ヲ作ルコト
各種製造品ノ材料手間等ノ研究
練習機試験飛行 練習開始ノコト

▲▼35ページ▲▼ 大正8(1919)年2月1日(土)

天気 曇リ
今日ハローノ飛行ヲ見ニ行クベク午前大急ギデニサイクルヲ試験ス 成績悪シク上京ヲ
中止シ山県稲垣二人ヲ見物ニヤル アトニテ種々試験ノ結果ツヒニマグネト不良ヲ發
見ス 丁度夕方デアッタ
川辺君ヨリ手紙來ル

▲▼36ページ▲▼ 大正8(1919)年2月2日(日)

天気 晴
久シ振リデ晴レ夜又雪降ル
午前鳥飼氏來 晝食後歸ル マグネト一個借り受ケル 百四十円 七十円現金デ拂フ
コトニキメタガ明日ニシタ
山県ノームニテバンクトコルクスクリユー一廻リヲナス 二回行ツテ大ニ成績ヨシ 低空ニ
テプロペラシヤフト根元ヨリ折レタレドモ無事着陸。後チプッシャー一週リヲナス 方向
舵キカズ
午後川辺君來 夜十一時迄話シ今夜ハ泊ル

▲▼37ページ▲▼ 大正8(1919)年2月3日(月)

天気 曇リ

朝起キテ見レバ又四五寸積ツテ居タ 九時頃迄降ツテ居タ
川辺君十一時ニテ帰京 來九日日曜日ニ來ルコトヲ約シテ行ツタ
後チ写真ノ現象(ママ)ヲナス

▲▼38ページ▲▼ 大正8(1919)年2月4日(火)

天気 曇リ

ニサイクル試験ゼウスニテ最大二百五十辺リ逆行ツタトノコト 大ニ成績ヨク、後チド
ライヤー小サイ方ニテ廻スヤハリ切レルノデ大キイ方ヲツケル 調子ヨシ イヨ、之レ
ニキメテスロットルバルブラ作ル
午後山県帰京

▲▼39ページ▲▼ 大正8(1919)年2月5日(水)

天気 晴風

北西風強シ

午前塗料試験 第一鹽化錫ガ變ダト思ツタ處ヤハリダメデアッタ

午後雜誌ヲ讀ム

山県午後帰ル

照井今日ヨリ來ル 猪口今日來 十七日頃ヨリ來ルトノコト

▲▼40ページ▲▼ 大正8(1919)年2月6日(木)

天気 晴

今日ハ日モ好イノデニサイクル試運轉ノツモリノ處オソクナツテツヒニ來ナカッタ

鳥飼氏來 石川等同氏ノアンザニー買ヒタイトノコトダガドウカトノ相談ガアッタガ榮
ガ買フトモ云フノデ變ニ思タノデ皆ガ退所スル様デハ白戸ニ對シテ面白クナイカラト答
ヘタカラ榮一人退所 買入レルコトニ結局キマリガツイタ

手金貳百円渡シタル由

吉三十九度強ノ熱アリ 醫者ヲ向ヘル

▲▼41ページ▲▼ 大正8(1919)年2月7日(金)

天気晴

今朝モ醫者ニ來テ貰ツタ 信太郎モ少シ患イトノコトデアッタ
余六七時九分ニテ上京 東京駅へ白戸君ヲ迎ヘニ行ク ソレヨリ先キ榮ニ會ヒ鳥飼氏トノ
話シヲ聞ク 飛ブコト續(ママ)任持チデアッタトノコト 上京後鳥飼氏ニ聞クト續(ママ)
任ハ持タナイトノコトデアッタ 結局藤原ノ二ノ舞ダロウト想像シタガ今更注意スル訳
ニモ行カズ崎山石川高橋、鳥飼、竹須夫人ト白戸ヲ迎ヘル 随分太ツテマルデハレテ居ル
様デアッタ スグ帰葉 食後四時頃辭シテ帰ル
吉ノ熱下ラズ。チエハ余ガダイテ寢タガロクニ眠レナカッタ

▲▼42ページ▲▼ 大正8(1919)年2月8日(土)

天気雪

朝熱(ママ)タカダト思タガ九時頃ヨリ急ニ寒クナリ雪ガ降り出シタ方七寸ツモル
早朝高梨醫師來 吉ハヨク小供二人ガ心配トノコトデアッタ
午後高橋來 高梨氏ハ小供ハ入院サセタ方ガヨイトノコトデアッタトノコトナリシモ雪ノ
爲メ如何共出來ナカッタ

▲▼43ページ▲▼ 大正8(1919)年2月9日(日)

天気晴

雪ノアシタノ快晴 実ニ心持ヨカッタ 試ニ計ツテ見ルト裏ノ畑デー尺一寸アッタ
今日醫師ニ聞ク 信太郎ハ大ニヨシ 智恵子ハ大分患イトノコト 明日吉トチエヲ入院サ
セルコトニシタ

朝白戸氏來 晝前川辺外三人來 白戸晝食後帰ル 川辺一行練習ヲ見テタ方帰ル

▲▼44ページ▲▼ 大正8(1919)年2月10日(月)

天気晴

九時五十分ニテ千葉行 高梨氏ノ努力デ入院 チエハ六ツケ敷カラントノコトデアッタ
晝食後白戸ニ立寄り三時半ニテ帰ル
大口ト會フ 直子ノコトヲ注意シテ居ク 帰場スレバ平居寢テ居ルトノコト 熱ヲハカルニ
三十八度六分アリタリ 樂ヲ取り養生セシム

▲▼45ページ▲▼ 大正8(1919)年2月11日(火)

天気晴

信太郎大ニヨシ 平居今朝三十九度六分アリ 大ニ注意ヲ要ス
十時ニテ千葉ニ行ク 吉吸入中ナリシモ醫師回診中止 チエ今日ハ少シ声ガ立ツ様ニ
ナツタガ乳ヲノマナイソウデアッタ 然シマツヨイ方デアッタ
吉ハ自分ノ顔見ルトシク、泣キヨツタガナンノ爲メカワカラナカッタ。淋シカッタノダロ
ウ
帰途白戸ニヨル 白戸モ寢テ居タ 洗濯ナドタノンデ帰ル

▲▼46ページ▲▼ 大正8(1919)年2月12日(水)

天気 晴

小鳥ノ手當ヲシテ九時五十分ニテ行ク 白戸サンカラ電報ヲ打ツテ貰ツタトノコト 今
朝ハ三十八度五分ニ上リ非常ニ悪シクトテモ駄目トノコトデアッタ 廻診ガ二時頃ニア
ツタ 五分バカリ食塩注射ヲサレテ顔色モヨクナツタノデ自分ハ帰ツタ 時ニ熱三十六
度

大江、宮本、喜代市發信

▲▼47ページ▲▼ 大正8(1919)年2月13日(木)

天気 晴

昨夜益々今朝ヤ、ヨイトノ報告ガアツタノデプロペラハギ合セヲナシ練習生ノ練習ヲ見
講評ヲナシ晝食後行ク 白戸氏朝カラ居テ呉レタトノコト 呼吸止マルコト二回 酸素
吸入ニテ漸ク保ツテ居ルトノコト 口カラハ黒イモノガ出テ居タシ目モウルミ小鼻ガ動イ
テ居タ。白戸君ト宅ニ行キ一杯ノンデ又病院ニ行ク 又一回ヤツタトノコト 余ハスグ帰
リ夜佐野ヲヤル

福永帰場 磯西モ帰リタル由

▲▼48ページ▲▼ 大正8(1919)年2月14日(金)

天気 雨

二番ガ遅レテ三番デ千葉ニ行ク トテモダメトハ思ヒツ、モ若シヤト云フ氣ヲ起ツテ急
イデ行ク 丁度吉ガ洗面シテ居タノデ聞クト昨夜九時ニ死ンダトノコト イヨ、ダメ
カト這入ツテ行ツタガ顔ヲ見ノガ何ンダカ不安ニ思ワレテチユウチヨシタガ白布ヲノケ
テ見ルト青イガ静カニ眠ツテ居ルトヨリ思ワレナカッタ 思ワズホーヲツ、イテ見タ 笑
フダロトモ思ワナカッタガソナ氣持デアツタガ手先キニ冷タク感ジタノミデアッタ
佐野ト山県ニマカセ吉ハ稲毛ヘ立寄り自分ハ白戸ニ行キ馳走ニナル 東京ノ柴田氏來
櫛引氏ニ照会シテ呉レトノコトデアツタガ自分ハ面識ガナイノデ事ワツテ名刺ヲ上ゲル

コトニシタ 夕方共ニ帰ル

▲▼49ページ▲▼ 大正8(1919)年2月15日(土)

天気 晴風

風アリ練習出來ズ

朝山県佐野骨上ゲニ行ク 山県一人帰り佐野夕方迄帰ラズ大ニ心配ス 山県ト待合セルノヲ千葉ト本千葉ト間違ツテ遅クナッタトノコトデアッタ
今日別ニ何ニモセズ
直母ト稲毛ヘ帰ル

▲▼50ページ▲▼ 大正8(1919)年2月16日(日)

天気 晴静

練習各三回ツ、行フ

加藤喜代次郎氏來 白戸君來 晝食後稲毛ヘ行キ夕方頃夜帰ル

▲▼51ページ▲▼ 大正8(1919)年2月17日(月)

天気 晴静

練習各三回ツ、行フ

平居今日ヨリ仕事始メル
自分ハプロペラヲ塗り塗料
練習機速力アマリ少ナク牽引力シラベル 二百瓦(ママ)下ラズ角度ヲシラベル 丁度ヨク
エンジン少シ、ウツムキ居タリ 約〇、六度之レヲ直ス

▲▼52ページ▲▼ 大正8(1919)年2月18日(火)

天気 雨

ガソリンヲ買フベク上京 渡辺ニ立寄りシモ品ナク佐藤ヘタンバツクヲ直シボールト請求。
阿部ニ行キ晝食後鳥飼ニ行ク 今夜主人朝鮮ヨリ帰ルトノコト ソコヨリ電話ニテ清水
ニ油注文。帰日本橋ノ小鳥屋ニ立寄り夕方帰場

▲▼53ページ▲▼ 大正8(1919)年2月19日(水)

天気 晴

練習アリ 各二回 石川休 平居青島モ各一回行フ

河村ノお母サンモ來ル お春サント佐野ノエンダンニ付キ話ガアッタ外何ニモ相談ラシイ
モノガナカッタ

今日ハ智恵子ノ一七日ニ付キ骨ヲ寺ニ納メ預ケルコトニシタ 處ガ寺ガ間違ツテ居テ骨
(ママ)稽デアッタ

鳥飼氏昨夜昨夜朝鮮ヨリ帰り、今日キジ一羽ト外ニ土産物ヲ貰フ

▲▼54ページ▲▼ 大正8(1919)年2月20日(木)

天気 晴風

今朝フト思ヒツイテ練習機ノプレーンヲ調ベルトドウモオカシイノデ練習生ニ分解セシ
メプレーンニニスヲ塗ラセタ 午後写真

トナリノ鍛冶屋ガ隼ヲウツテ來タノヲ貰フ 羽根ガウタレテ居タダケナノデ早速箱ヲ
作り水ト肉ヲ與ヘタ

▲▼55ページ▲▼ 大正8(1919)年2月21日(金)

天気 曇リ

大口來 小型發動機ノ試験

隼大ニ肉食ス 有望ナリ

山県宙返リ 金物青島 福永機体 平居鳥箱 佐野福永機体

練習機下面ノミ尚一廻塗料ヲ塗ル

▲▼56ページ▲▼ 大正8(1919)年2月22日(土)

天気 雨

大雨ニテ終日雑誌ヲ讀ム インキナ日デアッタ

松山ノ川辺君へ返書出ス 大坂ノ中島君イヅレモ飛行会ノ件ニツキ返出ス

▲▼57ページ▲▼ 大正8(1919)年2月23日(日)

天気 曇後晴

杉本佐藤喜ヘヤル ボールト請求ノ爲メ

大口ノニシリンダー廻ス カーブレータ大ニ過ギツヒニ調整出來ズ小イサイノヲ取寄セ
ルコトニス 其人ヨリビール一打玉子三十貫フ

河村母ヨリ佐野ト春サンノ縁談ニツキ二三日内ニ又行クトノコト 今夜佐野ニ意見ヲ

聞ク サレドモ母サンノ處分ヲ先キニセザレバ進メル能ワズ

▲▼58ページ▲▼ 大正8(1919)年2月24日(月)

天気 晴曇

杉本以下二名ニテ練習機組立ツ 夕方新プロペラニテ廻ス 百八十瓦迄ヨリ引カズ 其内風強クナリ中止

石川ロクマク悪シク一ヶ月休ムコトニナリ帰ル 磯西自宅ノ金四千円持出シテ逃ゲタル 毛親ハ非常ニ心配シ居ル由大坂ノ兄ヨリ手紙アリ 兄へ返書スグ出ス
金太郎今日帰ル

▲▼59ページ▲▼ 大正8(1919)年2月25日(火)

天気 晴曇

今日ハ機体ノ金物ヲ少シ手傳ツタ
夕方杉本一回滑走ス

▲▼60ページ▲▼ 大正8(1919)年2月26日(水)

天気 晴

今日ハ自分カントクシテプッシュヤー分解セシム

▲▼61ページ▲▼ 大正8(1919)年2月27日(木)

天気 曇晴

正午河村母來ル 佐野ノコト明後日返事スルコトニシタ
今日ハウエルトヲヤッタダケ

白文鳥巢箱へ別ケル

夜福永ヲ以テ磯西練習費百二十五円ヨリナイノデンソレデ十時ヤツオ來月カラヤラセ
テ貫ヒタイトノコトデアッタト明日返事スルコトニシタ
練習各二回ツ、青島最後ニ滑走旋回ヲアヤマツテ逆立ちス

▲▼62ページ▲▼ 大正8(1919)年2月28日(金)

天気 晴

春ラシイ上天気 午前中エレベーターヲ削リ午後千葉へ行ク 白戸大分ヤセテ來タシ

カモ非常ニ非(ママ)觀シテ居タノデ自分モヤク落トシニ吾妻俱樂部へ飲ミニ行ク 十時
迄ニ随分ノシダノデ終列車デ帰ル予定ヲツヒニ遊廓ニ入り又一サワギシテ床ニ入ル 飲
ミ過ギテ苦シカッタ

▲▼63ページ▲▼ 補遺

練習開始

練習所細則出來ズ

▲▼64ページ▲▼ 三月

陸軍注文運動

ガストン發動機取寄セ運動

地所買入ノ件

佐野エンダンノ件

▲▼65ページ▲▼ 大正8(1919)年3月1日(土)

七時半ニテ帰場 今日ハ一日カラダガ変デアッタ 昨夜眠レナカッタ精デアロー

アート商会店員五名來 晝食後帰ル

福永練習二回

▲▼66ページ▲▼ 大正8(1919)年3月2日(日)

天気 晴北風強シ

今日収支豫算ヲ作り山県佐野ニモ示ス 自分モ今月ヨリ給料ニ定メル

午後稲垣氏帰京

▲▼67ページ▲▼ 大正8(1919)年3月3日(月)

天気 晴風

山県ノーム試飛行

今日ハ小鳥ノ後花壇ヲ作ル 夕方阿部ト中島氏來 大坂飛行話シ希望ニヨリ山県ト決

定 六百円ト定ム

▲▼70ページ▲▼ 大正8(1919)年3月4日(火)

天気 晴

絶好ノ飛行日和ナリシニ福永大久保附近ニテ克蘭クシヤフト折レ着陸 山県鶴羽ニテサガシ救助ニ行ク

▲▼69ページ▲▼ 大正8(1919)年3月5日(水)

天気 晴

八時ヨリ大久保方面ニ回禮ニ行キ十時ニテ上京 鳥飼ニ立寄ル 丁度津田沼へ行ツタトノコトニ河村ニ行キ佐野ノ返事ヲナシ、阿部ニ行ク 時間ガ早ヤカッタノデ友野ニ行キ發動機ヲ見ル テンデ問題ニナラナカッタ 四時阿部ト島ト中島氏ヲ訪フ 五時頃ヨリ大坂ノ本社ヘ金額ニツキ電話カケタガ七時半漸クカ、リ結果六百元ニテマトマリ四百円ハ山県ニヤルコトニ話シキマル
芝浦明葉楼ニ行キ終列車ニ間ニ合ワズツヒ三十二時過ギ追遊ビ中島氏ヲ松本ヘ送り帰ルツモリノ處僕ガ帰ツテハ自分モ帰ルトダ、ラレツヒ三三人共泊ルコトニシタ

▲▼70ページ▲▼ 大正8(1919)年3月6日(木)

天気 曇リ後雨

八時起床 阿部宅ニテ朝食 契約書ヲト、ノエ十一時鳥飼ニ行キ話シヲナス 福永ノ克蘭クシヤフト岸飛行場ニ聞キ合セルベク福永ト同道ス 三時半向ニ着ク 丁度井上君ニ會ヒ原氏佐々木氏ニ面會 仕事ハスグカラデモカ、レルコトニナツタガ材料ニ大分カ、ルダロートノコトデアッタ 帰來 鳥飼氏ニソノ話シヲナス 氏ハ三百円ナラ引受ケルトノコトデアッタ。豊サンニ會フ
帰途太田ニ立寄リニサイクル受取り福永ト帰ル 終列車ニテ稲垣氏ニ會フ
夜十時頃格納庫ノマントト手サゲカバンヲ取ラレタ由

▲▼71ページ▲▼ 大正8(1919)年3月7日(金)

天気 晴風

今日ハ九時頃追寝テ仕舞ツタ
ノーム分解 山県晝頃帰場
ニサイクル佐野スリ合セヲナス
夜九時床ニ入ル スグ眠ル

▲▼72ページ▲▼ 大正8(1919)年3月8日(土)

天気 曇り後雨

終日園藝

当地漁業場次長ヨリ來テ呉レトノ事件一昨日アリタリトノコトニ福永君ヲヤリシニ海岸ヲ使用スルノハ如何ナル考ヘデヤツテ居ルカトノコトデアッタ 馬鹿々々敷シカッタガ捨テ、モ居ケナイノデ善後策ヲ考究ス

夜十二時中島氏ヨリ開會ニ三日延ビルトノ電アリタリ

▲▼73ページ▲▼ 大正8(1919)年3月9日(日)

天気 晴

午後池ノ掃除ヲナス カエルノ産卵期デオカマノ大キイノガ居ルワ、随分イタ

鶴羽號出荷ス

昨日ノ問題トリアエズ山県ニ自分不在ト云フコトニシテ村山ハヤル 氏在任中ハ決シテ心配イラナイトテスグ其方法ヲ講ジテ呉レルコトニナツタソウダ

▲▼74ページ▲▼ 大正8(1919)年3月10日(月)

天気 曇り

練習機發動機試験 人乗ツテ二百廿瓦引ク 大二成績ヨシ

▲▼75ページ▲▼ 大正8(1919)年3月11日(火)

天気 曇晴

午後青島大坂へ出發セシム

白戸外四名來 ノーム組立テル 持チ帰ルコトハ延バス 白戸夕食後帰ル

練習機山県試飛行 直線ヲ行ヒ風強ク中止 今日八百六十瓦シカ引カナカッタトノコト

▲▼76ページ▲▼ 大正8(1919)年3月12日(水)

天気 曇り

記事ナシ 浪六ノ本ヲ讀ム

▲▼77ページ▲▼ 大正8(1919)年3月13日(木)

天気 晴

久シ振リノ練習 今日ハ自分モ出テ行ツテ練習振リヲ見タ 山県モヤツタ 各四回ヅ、
行フ 杉本大ニヨシ 照井モ自重スル處大ニ有望ナリ

午後園藝

帰坂後佐渡島ニテ地所買入レヲタノムコト 河村ノヲ借リテ練習機一台買入レノコト
等ヲ考ヘル

▲▼78ページ▲▼ 大正8(1919)年3月14日(金)

天気 晴少曇リ

午前練習各三回ヅ、杉本イヨ、進境ヲ示ス 最後ニ佐野直線飛行シテ着陸後左ノ
車輪スポーク折レトシボ返リヲナス プロペラ破壊

晝食後山県ト成田山ニ參詣 夕方帰ル

大坂ヨリ電報アリ 一〇日ヒシヨウトアリ十九日カ十六日カ大ニ氣ヲモム 電報ニテ聞
合ス

▲▼79ページ▲▼ 大正8(1919)年3月15日(土)

天気 雨

今日出發ノ予定ナリシモ十九日飛行トノコトニ中止 十七日出發ノ旨打電ス
午後少シ雑誌ヲ讀ミウツシモノナドナス

金太郎來ル

▲▼80ページ▲▼ 大正8(1919)年3月16日(日)

天気 曇リ

今日練習ヲ行フ 山県直線飛行 成績ヨシト

▲▼81ページ▲▼ 大正8(1919)年3月17日(月)

天気 晴

午前九時半ニテ上京 買物等ヲナス 鳥飼氏千葉ヘ行キシトノコト

余ハ河村ニ行キ晝食後お春サンニモ會フ 四時ニテ出發 大ニ込ミ合フ

▲▼82ページ▲▼ 大正8(1919)年3月18日(火)

天気晴

大坂着 スグ自動車ニテ帰宅 入浴 朝食 散髪後朝報社ニ行ク 中島氏ト師團司令
部ニ行キ練兵場借入レヲ終ル 丁度十二時 井上長君ヲ問ヒシモ不在 練兵場倉庫ニ
行キプレートテール組立テ發動機試験ヲナシ中島氏ト博覽會事務所ニ行キ金二百
円受取り本社ニ挨拶ニ行キ夕食ヲパウリスタニ馳走ニナリ帰宅 皆ハ温泉へ兄ト行キシ
モ余ハ姉タチト話シ後九時半床ニ入ル

▲▼83ページ▲▼ 大正8(1919)年3月19日(水)

天気晴

五時半起床 無事飛行終ル
藤原井上來 大坂飛行青年団関西飛行研究会ヨリ花環ノ送呈アリ 池上市長ヨリメ
ダル一個

夜魚岩ニテ朝報社ヨリ馳走ニナル

▲▼84ページ▲▼ 大正8(1919)年3月20日(木)

天気晴

午前早ク皆ハ積込ミニ行ク 余ハ入浴後帰リヲ待ツ 阿部へ五十円電爲替組ム 十時頃
ヨリ山県ト自動車ニテ本社、市役所師團ニ廻禮ス 山県宝塚へ遊ビニ行ク 帰リテ九時
二十分ニテ出發 帰京ス
青島静岡ニ立寄ルベク十二時半ニテ先発ス

▲▼85ページ▲▼ 大正8(1919)年3月21日(金)

天気晴

七時起床 九時野島氏訪問 共ニ京都ニ行ク 模型屋ニテ晝食ヲ馳走ニナリ發動機ヲ
見ニ行ク 中々上モノデアッタ。スグ帰坂 時間ガアッタノデ佐渡島西店ニ行キ主人ト
會談 約一時間 中君ヲ訪問シ共ニ西田君ニ行ク ウイスコンシンハ同氏ガ持ツテ居ルト
ノコトデアッタ 不用ナレバ買受ケタシト頼ミ居ク

▲▼86ページ▲▼ 大正8(1919)年3月22日(土)

天気晴

兄ト温泉ニ行ク イツモナガラ熱情ノアル兄ダ 多謝々々 竹島へ行き一時間バカリ會談シテ帰ル 夕食ノ爲メ裏ノ兄ト延次郎ト四人ニテ新世界小雪ニテ遊ブ 十一時帰途ニツク 兄ノ姿見エズ再ビ引返シテ連レ帰ル
明早朝出發ノ準備ヲナシ床ニ入ル

▲▼87ページ▲▼ 大正8(1919)年3月23日(日)

天気 晴

五時半起床 七時ニテ出發 午後二時犬山一ノ宮着 コ、デ宅へハガキヲ出シ電車ニテ犬山ニ行キ四時半大島屋ニ着 六時頃飛行場ナル安井氏ヲ訪問シ帰ツテ入浴 夕食 安井氏來 十一時頃適會談 床ニ入ル

▲▼88ページ▲▼ 大正8(1919)年3月24日(月)

天気 曇リ雨

八時半宿ヲ立チ安井氏ト飛行場ニ行ク 丁度幸ヒニユーポールノ飛ブ處デヨカッタ 横轉キリモミ、サイドスリップ等ヲ見ル 後チ新ニユーポールニシターノ試験アリ。日本 将校ハ旧ニユポール単葉ノ翼ヲ切りタルモノニテ盛シニ滑走練習ヲヤツテ居タ 安井氏ニテ晝食ヲ馳走ニナリニ時二十分ニテ犬山ヲ發 四時五分ニテ名古屋ヲ出發 汽車大ニ遅延 十一時ヤット静岡着 駅前静栄館ニ泊ル 入浴 夕食後十二時半床ニ入

▲▼89ページ▲▼ 大正8(1919)年3月25日(火)

天気 晴

七時起床 カラリト晴レタ日本晴レ 窓ヲ開ケバ富士ノ清姿ヲ望ム 車ニテ安永氏ヲ尋ネ機ヲ見ル カーチス型デアッタ スベテ瓦斯管ヲ使用シテ居タ 後チマダ發車迄一時間バカリアッタノデ公園ニノボリ市街ヲ望ミ九時半ニテ出發 午後四時東京着 鳥飼氏ニ立寄り帰宅後夕食 十時頃床ニ入ル 風強シ

▲▼90ページ▲▼ 大正8(1919)年3月26日(水)

天気 曇リ晴風強シ

秀雄ヲ東京へ使ニヤル

練習アリ

日記 手紙 金銭整理

▲▼91ページ▲▼ 大正8(1919)年3月27日(木)

天気 曇り

秀雄土産物ヲ両宮本大江氏へ持タセヤル
練習アリ

東京行中止ス

▲▼92ページ▲▼ 大正8(1919)年3月28日(金)

天気 雨

上京ノ予定ナリシモ雨ニテ中止

▲▼93ページ▲▼ 大正8(1919)年3月29日(土)

天気 晴曇

北風寒カツタ 九時半ニテ上京 原ボールト屋ニ行キ河村ニテ晝食 明日ノ打合セヲナ
シ帰途鳥飼ニヨル 不在 上野ノ博覧會ヲ見テ帰ル

▲▼94ページ▲▼ 大正8(1919)年3月30日(日)

天気 晴

十時半ニテ上京 鳥飼ニ立寄り晝食後河村ニ行キ人力ニテ神田へ行ク 馳走ニナリ結納
モ終リ夕方阿部ニ行キ夕食後帰ル
今日台湾ヨリ謝文達來ル

▲▼95ページ▲▼ 大正8(1919)年3月31日(月)

天気 晴

白色ブラーマニ羽番十六円ニテ買フ
照井練習中逆立シテ翼トプロペラヲ破壊ス

▲▼96ページ▲▼ 補遺

三月八佐野エンダンマトマッタ外○
大坂行費用約五十円損失

▲▼97ページ▲▼ 四月

發動機取寄セ運動熱中スベシ
佐野婚禮

▲▼98ページ▲▼ 大正8(1919)年4月1日(火)

天気 晴
インデียน取付ノ現圖引ク

▲▼99ページ▲▼ 大正8(1919)年4月2日(水)

天気 晴
園藝

▲▼100ページ▲▼ 大正8(1919)年4月3日(木)

天気 晴曇
晝頃ヨリ頭痛ハゲシク床ニツク
土地買ツテ呉レガ又ヤツテ來タ 明日上京 鳥飼氏ト相談ノ上ト返ス

▲▼101ページ▲▼ 大正8(1919)年4月4日(金)

天気 晴曇
上京 渡辺佐藤支払拂ヒラナシ鳥飼ニ立寄ル 白木へ佐野ノモノ注文ス
河村ニ行ク 此頃ヨリ又頭痛ハゲシクスグ帰ル
大江氏宮本両氏共不在

▲▼102ページ▲▼ 大正8(1919)年4月5日(土)

天気 晴曇
晝食後吉卜千葉ニ行ク 雨時々降ル 余ハ白戸へ直行シ吉ハ醫者ニ寄ル
夕食後帰ル 稲垣氏帰京ス

▲▼103ページ▲▼ 大正8(1919)年4月6日(日)

天気 曇り

終日在宅 福永君ニ佐渡屋結婚式ノ件聞イテ貰フ
午後青島荷造ノ爲メ上京セシム

▲▼104ページ▲▼ 大正8(1919)年4月7日(月)

天気 曇後晴

晝食後上京 佐藤ニテ買物ヲナシ白木屋鳥飼ニ立寄ル 宮本大江両氏又不在 河村ニ
行ク 今荷物出シタトノコトデアッタ 阿部ニ行ク 又不在 要件ヲ書キ残シテ帰宅

▲▼105ページ▲▼ 大正8(1919)年4月8日(火)

天気 晴

午後井上長一君來 夜終列車ニテ帰ル
練習アリ

▲▼106ページ▲▼ 大正8(1919)年4月9日(水)

天気 晴

終日在宅 鳥小屋ノ手傳ヒヲナス
白戸ノ妻君來ル スグ帰ル 河村ノ母來ル 午後帰ル 佐野買物ニ上京セシム
練習ヤリシモ風強ク杉本一回山県一回ニテ終ル

▲▼107ページ▲▼ 大正8(1919)年4月10日(木)

天気 曇雨

朝カラバタ、シテ四時半ヨリ船橋ニ行ク 鳥飼氏午前來 禮服ト取替ヘク帰ル
鈴木ノ方鳥飼氏立寄り平均一円五十錢ト家別ニ買ツテヤルト云フコトニ返事シタ 坪
数ハ平地ガ七百坪近ク、土堤ガ二畝トカ云フコトデアッタ
嫁ノ方ハ途中バンクシテ七時頃ヤット來タ スグ式ヲナシ宴ニウツリカナリ盛ンデアッタ
余ハ大ニヨツテ半バ無(ママ)中デ帰ツテ寢テシマッタ

▲▼108ページ▲▼ 大正8(1919)年4月11日(金)

天気 晴

風強シ 栄ノ飛行機五百円ニテ受負フベク鳥飼氏へ返スル 車輪トタンバック百個鳥飼氏負擔ノコト

▲▼109ページ▲▼ 大正8(1919)年4月12日(土)

天気 曇り風

練習ナシ

▲▼110ページ▲▼ 大正8(1919)年4月13日(日)

天気 晴

練習アリ

鳥小屋ノ手傳ヒ今日出來上ル

▲▼111ページ▲▼ 大正8(1919)年4月14日(月)

天気 曇り

八時ニテ稲毛ニ行キ仕度ヲナス 一同十一時前來ル お春サンモ吉モ來 二時半ニテ帰ル 夕方河村母東京ヨリ帰ル
稲毛ヨリ両宮本大江氏ニ時候伺ヒヲ出ス

▲▼112ページ▲▼ 大正8(1919)年4月15日(火)

天気 雨風

プロペラノバランスヲ取り小鳥ノ箱ニ終日カゝル

▲▼113ページ▲▼ 大正8(1919)年4月16日(水)

天気 晴

練習アリ 余等稲垣氏ト沖へ初メテ貝取りニ行ツタ 練習中ノ飛行機ヲ沖カラ見ルト 走ツテ居ル處ハ寒ニ僅カナモノデアツタ 午後植木台ヲ作ル

▲▼114ページ▲▼ 大正8(1919)年4月17日(木)

天気 曇り

練習アリ 久シ振りニ海ニ入り見ル 北風寒ムカッタ
午後畑ノ垣根ヲ造ル

▲▼115ページ▲▼ 大正8(1919)年4月18日(金)

天気 晴

終日在宅 植木棚ナド作ル

▲▼116ページ▲▼ 大正8(1919)年4月19日(土)

天気 晴

鳥飼氏外四名遊ビニ來ル スグ井上中尉外四名來 大混雑ヲナス イヅレモ夕方迄ニ
帰ル

練習各一回ツ、

▲▼117ページ▲▼ 大正8(1919)年4月20日(日)

天気 晴風

時事 両国国技館健(ママ)築中ノ處今朝風ノ爲メ全部壞ル

九時半ニテ佐野、吉、母、ト上京 神田ニ立寄り浅草ノヤッコニテ馳走ニナル 花屋敷玉
乗ヲ見吉ト春ハ先キニ帰ヘシ佐野ト電気館ヲ見テ帰ル

▲▼118ページ▲▼ 大正8(1919)年4月21日(月)

天気 晴

晴後風

山県ノ機組立出來上リ發動機試運転 九時五十分ニテ千葉ニ行ク 買物ヲナシ白戸ニ
テ晝食後帰ル

夜五月人形ヲカザル

▲▼119ページ▲▼ 大正8(1919)年4月22日(火)

天気 曇雨風

南ノ列(ママ)風アリ 夜益々ハゲシクナル

朝プロペラ塗料ヲホドコシ十時二十分ニテ上京 佐藤、太田、鳥飼阿部、ニ用タシヲナシ
夕方帰ル

▲▼120ページ▲▼ 大正8(1919)年4月23日(水)

天気晴

終日在宅 プロペラ塗りヲ行フ

▲▼121ページ▲▼ 大正8(1919)年4月24日(木)

天気晴

上天気 青島ヲ連レテ木材ヲ買ヒニ行ク 深川ノ木場ヲ一時間途(ママ)リ歩キ廻ッテ
四十円バカリ買物シテ帰ル 青島ハ原ト鳥飼ニヤル
余ハ帰宅後鶴羽ニ鶴ヲ畫ク

▲▼122ページ▲▼ 大正8(1919)年4月25日(金)

天気晴

絶好ノ練習日和 鶴羽直線一回 後部橋折レテ中止 發動機スローニテフワヽ離陸
前後モヨサソウナリ
五平青島モ一回ヅヽ練習ス

▲▼123ページ▲▼ 大正8(1919)年4月26日(土)

天気 晴風

鶴羽直線飛行三回 後チ八津幕張ニ渡リテ旋回約十分 五六百米ニ達シボールプラン
ニテ着陸。成績ヨシ 着陸ノ練習ヲ當分練習スル必要アリ
午後西南風烈シカリキ 千葉ニ行ク 白戸ニテ夕食後帰ル

▲▼124ページ▲▼ 大正8(1919)年4月27日(日)

天気晴

北風強ク練習中止

▲▼125ページ▲▼ 大正8(1919)年4月28日(月)

天気晴

午後風出ル

インディアン鶴羽試験飛行二回 後子佐野二回 照井杉本各一回ツ、滑走。練習機
各三回ツ、練習 第二鶴羽一回 稲毛追往復 場上一回 十四分ニテ着陸
第二鶴羽ノ写真ヲ取ル
ガソリン五箱モーターB二箱着 材木類全部着

▲▼126ページ▲▼ 大正8(1919)年4月29日(火)

天気 晴

三機練習 白戸ヨリ高橋飛行機ニテプロペラヲ取りニ來ル 山県アトヨリ高橋ヲ追フ
稲毛ニテ追ヌキ一回旋回シテ尚先キニ着陸ス

▲▼127ページ▲▼ 大正8(1919)年4月30日(水)

天気 曇リ雨

磯西復習ノ爲メ帰坂スルニ付旅費來ラズ五十円借シ(ママ)タシトノコトニ大ニ苦シカッタ
ガ貸シテヤッタ
練習出來ズ

▲▼128ページ▲▼ 補遺

佐野婚禮終ル

發動機取寄せ運動未ダシ

▲▼129ページ▲▼ 五月

發動機取寄せ運動

ウイスコンシン買入レ運動

アンザニーホゞ完成セシムルコト

▲▼130ページ▲▼ 大正8(1919)年5月1日(木)

天気 曇少雨

磯西帰坂ス アトへ電爲替來ル 福永ニ預リ居イテ呉レトノコト傳アリシ由
今日規定最初ノ休日 青島、秀雄、謝文達成田ニ参拜ス

余ハ庭園イジリ

▲▼131ページ▲▼ 大正8(1919)年5月2日(金)

天気 曇り雨

練習出來ズ

佐野インディアンノカバーヲ作ル

▲▼132ページ▲▼ 大正8(1919)年5月3日(土)

天気 晴烈風

十時頃ヨリ風吹き午後三時頃最モハゲシク

余ハ晝食後千葉ニ行ク 白戸不在ナリシモ四時頃帰ル 夕食後帰宅 十一時 十二時
寝ニ就ク

▲▼133ページ▲▼ 大正8(1919)年5月4日(日)

天気 晴

朝七時ニテ上京 スグ大江氏ヲ訪フ 丁度九時 結果ローレンス三十五馬力二台ハ確實
ニ取寄セテ貰フコトニナル 其変リ自分デ引取ルコトニ約束シタ 大馬力ハリバーチ百八
十五馬力ヲ責任ヲ以テ賣ルカラ最(ママ)非取寄セテ貰フコトニタノム

▲▼134ページ▲▼ 大正8(1919)年5月5日(月)

天気 晴

白戸來 鳥飼氏モ來 午後練習 山県ループ二回サイドスリップ、急旋回ヲ行ヒ着陸
第一回ノループナリ 稲垣氏機點險 表ノ故障ナシ

▲▼135ページ▲▼ 大正8(1919)年5月6日(火)

天気 晴

朝出カケル處へ福永氏來 共ニ行ク 長岡氏ニ面會 飛行ノコトヲ取極メル 普通飛行
二百五十円 ループ五百円 費用別ニ支出サルコトニナル
鳥飼氏ト相談 十日ループ發表トキメル 九日ハ上野へ皆行クノデ十日ノ方ヨイト思ッ
タカラデアル 阿部ニ立ヨル 夜八時ニテ帰ル

▲▼136ページ▲▼ 大正8(1919)年5月7日(水)

天気 晴

終日在宅 風強ク練習ナシ

▲▼137ページ▲▼ 大正8(1919)年5月8日(木)

天気 晴風

朝食中戸川矢野二氏來 ノーム試運轉後記念写真ヲ取り十時ニテ上京 鳥飼ニテ晝食後協会ニ行ク 明日延期 十日トナル 共ニ飛行場ヲ見ニ行ク洲崎ニテ分レ鳥飼ニ帰ルケツカク予防会モ延期ニナツタトノコト
夕方帰宅

▲▼138ページ▲▼ 大正8(1919)年5月9日(金)

天気 曇リ

夕方一同ヲ引ツレテ上京 鳥飼宅ニ泊ル 夜前祝ニパイヤリ大ニメイテイス 十二時床ニツク

▲▼139ページ▲▼ 大正8(1919)年5月10日(土)

天気 晴

二時半頃ヨリ目醒メテ眠レズツニ朝ニ及ブ 空晴レテ片雲ナシ 風ヲ氣ツカヒツ、六時場ニ行ク 井上君先陣シテ來ル 間モナク山県第一回ループニテ着陸 次ギニ佐藤君、飯沼君來着 中島式イカニ立派カト思タガ案外粗末ナ飛行機デアッタ 佐藤、井上帰ル 飯沼低空ヲ飛ビ田中代ツテ川中ニ墜ツ 所員大ニツトメ分解ス 余協会へ金ヲ貰ヒニイク 茶代トシテ二百五十円 宙返リトシテ四百円 六百五十円貰フ 此時ヨリ風ハゲシク心配シツ、場ニ急イデ帰ル スデニ終ツタル處 烈風中無事ニ回ループセリト 井上中将磯部氏等感服ス
夜洲崎ニ宴ヲ開ク 今日ノ競技会中スベテノ點ニ於テ本所ガ最モ優秀デアッタ コトニ烈風中ノ宙返リハ先手ノスミス以上デアアルコトハ識者ノミトメル處デアッタ 然シ世人ガソレ程ニサワガナカッタノハ少シモノ足りナカッタ

▲▼140ページ▲▼ 大正8(1919)年5月11日(日)

天気 晴

風ツヒニヤマズタ刻ヨリ雨トナル

八時鳥飼宅ヲ出テ三越ニテ切手ヲ求メ千葉ニ行キ白戸ニテ晝食 アンマヲ取り一寢入
ナシ徳永氏ニ挨拶 帰宅 十時半床ニツク

▲▼141ページ▲▼ 大正8(1919)年5月12日(月)

天気 曇リ

晝食後上京 オソクナツタノデ徳永氏帰業後ニテ金受取り得ズ 鳥飼ニ行キ稲垣氏ト
共ニ松本ニテ夕食 帰宅 百円出シテ内二十円稲垣氏トノコトデアッタガ固ク辭シタ
處ツヒニ割トシテ六十五円ダケ取ツテ呉レトノコトソレヲ貰フコトニシタ
九時帰宅

▲▼142ページ▲▼ 大正8(1919)年5月13日(火)

天気 曇リ

上京 協会ニ行ク 徳永氏請求書下書ヲ作りコンダケ出シテ呉レトノコトデアッタ 計
百六十六円余アッタ 阿部ニ行クガ不在 鳥飼ニテ夕食後帰ル 平岡大坂ヨリ來ル
ジ ヤイロノコトニツイテナリト

▲▼143ページ▲▼ 大正8(1919)年5月14日(水)

天気 晴

五平協会ヘヤル 協議ノ上支持トノコトデアッタト
夜蔭山來 一泊

▲▼144ページ▲▼ 大正8(1919)年5月15日(木)

天気 曇少雨

今日八亩返り成功祝ヒヲ晝食時ニ行フ
蔭山七円貸ス 晝食後帰ル
夜平岡來ル 山県ノ方ヘヤル 自分ハ寢テ居タ

▲▼145ページ▲▼ 大正8(1919)年5月16日(金)

天気 晴

終日在宅

平岡エンジンノ件 小生帰坂品見夕上下返事ス 鳥飼氏來 晝食後帰ル 十八日飛行決定セル由

大江氏ヨリ手紙來 有望ノモノノミナリキ

▲▼146ページ▲▼ 大正8(1919)年5月17日(土)

天気 曇リ

協会へ金貫ヒニ行ク 鳥飼ト阿部ニ立寄り夜九時帰宅

▲▼147ページ▲▼ 大正8(1919)年5月18日(日)

天気 曇リ後晴

七時ニテ助手三名ヲ連れ上京 両国ヨリ鳥飼へ電話ヲカケ場ニ行ク 十時半飛機來 十二時過ぎ漸ク協会側ノ人來 一時飛行 發動機調子悪シク着陸 プラッグヲ洗ヒガソリンヲ取替へヨクナル
二回ノ飛行後四時十五分出發 帰場ス 野島氏來 鳥飼氏ノ馳走ニテ松本ニ行ク 七時五十分ニテ帰場

▲▼148ページ▲▼ 大正8(1919)年5月19日(月)

天気 晴

無類ノ好天気 練習アリ
山県午後帰京ス
日本自動車學校へ特點ヲ與ヘルコトヲ返事ス

▲▼149ページ▲▼ 大正8(1919)年5月20日(火)

天気 曇リ

終日在宅 夕方少シ庭園ヲイジル
練習同乗一回ニテ中止 山風強シ
鶴羽プレンボックス大急ギニテ製作ニカゝル
名古屋廿五六日キマツタトテ東京ヨリ使ガ二度モ來タ 然シ廿五日ニ六間ニ合ヒソウモナイノデ其由通知ス
大工今日ヨリ來ル

▲▼150ページ▲▼ 大正8(1919)年5月21日(水)

天気 雨

今日平岡ヨリノ電報來ル 名古屋金ノ事ニテ延期ナリト。アレノコトハイヨ、的ニナラナイ

箱ツクルニ青島モカ、ル 余カワリテバツツンヲ打ツ

▲▼151ページ▲▼ 大正8(1919)年5月22日(木)

天気 曇リ

終日在宅 無事

▲▼152ページ▲▼ 大正8(1919)年5月23日(金)

天気 晴

今日漸ク晴レル 午前九時ニテ千葉ニ行キ散髪シテイツモノ引物屋ニ行キイツモノレバーヲ受取り代金ヲ拂ツテ白戸ニ行ク 昨日帰ツタトノコト

晝食後アンマヲ取り五時頃辭シ六時十二分ノ急行ニテ帰ル。夜皆ヲ活動写真眞ヘヤル

今日杉本インディアンヲ着陸後バウンドシタ後チ驚イテスイチヲ入レタ爲メ左下翼ト車輪プロペラ、プロペラホストヲ破損シタ

▲▼153ページ▲▼ 大正8(1919)年5月24日(土)

天気 晴

福永ノカバーヲ作ル 久シ振りデ本氣ニ仕事シタノデ大キニクタブレルト同時ニ愉快デアツタ

山県インディアン分解シタ處後部カバーニヒビガアツタ 照井ノ話シデハ大森デ分解シタ節ヤハリカタイノヲ無理ニタ、イタ爲メ出來タモノダトノコトデアツタ 青島佐野インディアン機体修理

午後ノ練習ニテ謝文達傾斜セルモノヲ其マ、上ゲテ車輪ト左下翼ヲ破壊シタ

▲▼154ページ▲▼ 大正8(1919)年5月25日(日)

天気 晴

今日モカバーク終日ヤル

福永ノグレゴア試運轉シタ處先年大牟田デアツタ時ヨリヤ、小サイ音ガ克蘭クケースニヒビクトノコトデ中止シ赤羽ヘ電報ヲ打ツ

夜信太郎熱三十八度三分ニ登リ夜中ニ二時頃チ、ト玉子ヲ皆出シテシマツタ 水枕ヲナ

シ手ヌグイデ冷ス

▲▼155ページ▲▼ 大正8(1919)年5月26日(月)

天気 曇リ

信太郎ヤ、ヨクナル

上京 稲垣氏ト高工記念日ヲ見ル 晝食後活動ヲ見テ七時ノ列車ニテ帰ルベク両国ニツク 丁度白戸氏ト會フ 今夜十時半ニテ北海道ニ行クトノコトニ上野迄見送ル

▲▼156ページ▲▼ 大正8(1919)年5月27日(火)

天気 曇リ

鳥飼氏大口來

京都飛行極リソウダトノコト

信太郎下痢ハゲシク腹カタルラシカッタ 夜下剤ヲカケル

▲▼157ページ▲▼ 大正8(1919)年5月28日(水)

天気 晴

赤羽ヘ職エヲ依頼スベク福永ト共ニ行ク 大工場ニアルマジキ種々ナコトヲ云ツタガ結局二人連レテ帰ツタ 余ハ鳥飼氏ニ立寄り夕食後帰宅ス

▲▼158ページ▲▼ 大正8(1919)年5月29日(木)

天気 晴

山県ノ練習終ツテ共ニ上京 稲垣氏ト太田ニ行ク 二時半着 工場ニ行ク 所長、中田氏上京不在 戸川君ノ案内ニテ場ヲ見ル 丁度百五十ホールスコット一時間試験中デアツタ。發動機ガ十数台露天ニ天幕ヲカケテアッタノハ、ウラヤマシカッタ。飛行機モ過日見タモノヨリハ大變ヨカッタ

夕方戸川関口両君ノ馳走ニナリ巴黒屋ニ宿ヲ取ル

▲▼159ページ▲▼ 大正8(1919)年5月30日(金)

天気 晴

午前五時起床 六時二十分出懸ケル 途中戸川氏ニ會ヒ関口君ヲ起シ停車場ニ行ク 四十七分発車ト思タノガ五十九分デアリソレガ二十分遅レタノデ関口君ノコボスコト

メシヲ喰ワズニ出テ來タノダソウダ。ヤット汽車ガ動イテ止マレバ 木崎一里余ヲ徒歩ニテ場ニ行ク 格納庫ニ棟アリ一棟ニ練習機ニ一台アリ一棟ニ所沢へ納ムベキ新型ニ一台アリタリ。佐藤君ニ回ノ宙返リヲ行フ アマリキレイニハ行カナカッタガ兎ニ角ウマクナツタモノダ。今日ハ所長ガ不在ナノデ藝者モ來ル 相撲モ來タ 余等ガ辭シタ後チ練習機デ幾回モタヤツテ居タ 皆乗セタラシイ

▲▼160ページ▲▼ 大正8(1919)年5月31日(土)

天気 晴

福永ノカバヲツクル

今朝山県佐野ト相談ノ上同乗練習ヲ行ハザレバ熟達オソトキニ付インデイアンヲ返シテホールスカットニテ飛行機ヲ作ルコトニ決シタ

▲▼161ページ▲▼ 補遺

發動機取寄セ運動七分通り達ス
ウイスコンシン返ナシ
アンザニー中バ出來

▲▼162ページ▲▼ 六月

發動機取寄返廿日頃米国ヨリ來ル筈 ソレ迄運動ヲツヅク
陸軍方面運動スベシ
アンザニー完成
ホールスコット同乗用製作ニカゝルコト

▲▼163ページ▲▼ 大正8(1919)年6月1日(日)

天気 晴

昨夜大雷雨アリ 今朝九時頃地震アリタリ
鳥飼氏來 船橋ニ行ク 余モ稲垣氏ト行ク 福永モ試験飛行ト兼ネテ舟橋ニ行ク 午
後一時福永飛ビ山県次イデ宙返シテ帰ル 晝食ヲツタヤニテ馳走ニナル 海軍ノ金子
少佐ノ兄ナル人ト會食ス 騎兵十四聯隊長ナリト 広島ノ人 夕方帰ル

▲▼164ページ▲▼ 大正8(1919)年6月2日(月)

天気 晴

今日ハ頭痛ガシテ終日ナニモ出来ナカッタ
練習アリ 福永モ二回飛ブ

▲▼165ページ▲▼ 大正8(1919)年6月3日(火)

天気 晴

風アリ練習中止
山県上京
自分ハ畑ノ整理ヲナス

▲▼166ページ▲▼ 大正8(1919)年6月4日(水)

天気 曇雨

夕方ヨリ上京 鳥飼氏ニ泊ル
白戸ノ妻君來 夕方帰ル

▲▼167ページ▲▼ 大正8(1919)年6月5日(木)

天気 曇り雨

大雨ニテヤメヨト思ツタガ思ヒキツテ行ツタ
有川氏ハ各務原へ出張不在 スグ帰ル
夕方手紙ヲ見ルト大江氏ヨリ今夕五時両宮本氏ト待ツテ居ルトノコトニ明日行ク旨打
電ス

▲▼168ページ▲▼ 大正8(1919)年6月6日(金)

天気 晴

八時四十九分ニテ吉ト信太郎ヲ連レ稲毛ニ行キ花ヲ見舞ヒ晝食後帰宅スグ上京ス
吉小供ヲ引取りテ車ニテ帰ル
夕方宮本喜與蔵氏ニ會 大江氏立會ヒノ下ニリバーチーニテ一台製作ノ件話シアリシ
モソレヨリ陸軍デ注文スト云フナラ陸軍ノ發動機デ機体ノミ製作ヲヤリタイトノ希
望ヲ述べ兎ニ角火曜日陸軍へ同道スベク約シ大江氏ノ馳走ニテ赤坂ノ金喜ニ行ク 鳥飼
ニヨリ十時ニテ帰宅

海軍ノ一機江戸川沖ニ着水 幣所へヒナシセル由 夕方若宮來リテ引キ行キント

▲▼169ページ▲▼ 大正8(1919)年6月7日(土)

天気晴

練習機二台 組立出來ス

昨夜ハ赤ン防(ママ)ト信太郎トデヨク眠レナカッタ

▲▼170ページ▲▼ 大正8(1919)年6月8日(日)

天気晴

練習機二台ニテヤル

写真屋ノ池田來 山県ノ複写スベク写真帳持ツテ歸ル

▲▼171ページ▲▼ 大正8(1919)年6月9日(月)

天気雨

終日在宅 川辺カラ手紙ガ來タ 自分ノ宅モ商品モ皆焼イテシマッタトノコト 返事ヲ

出ス 実ニ氣ノ毒ナ人ダ

▲▼172ページ▲▼ 大正8(1919)年6月10日(火)

天気雨

七時九分ニテ上京 鳥飼氏ニヨリ宮本組ニイタル 大江氏ニモ會フ 十時過ギヨリ宮本喜氏ト陸軍省航空課ニ兒玉大尉ニ會フ 材量課へ行ツテ呉レトノコトニ同課ノ一大尉ニ面會 希望ヲハナス 陸軍デハ今飛行機ハ余ツテ居ルトノコトデアッタ ソコデ参考迄ニ出來得ル能率ダケノ飛行機ヲ設計シテ圖ヲ出シテ居イテ呉レトノコトデアッタ。後チ參謀本部ニ小園中佐ニ會フテ航空課長杉原中佐ニ照会状ヲ貰フ 今日ハコレニテ一先ヅ引上ゲ 鳥飼ニテ晝食 阿部ニ會フ

午後三時磯部氏ヲ訪問ス 氏ハ第三者トシテ吾レ、ニ何等關係ナク寄附ヲアツメテ吾レ、ニ呉レトノコトデアッタガ熟慮ノ上返事スルコトニシテ歸ル

阿部ニ立寄ル 井上中將來津シタシトノコト 明日天氣ナレバ來テ呉レト云ツテ居イタ

▲▼173ページ▲▼ 大正8(1919)年6月11日(水)

天気曇リ

山県同乗練習ヲ行フ 方向舵ノミ練習生ニヤラセル 成績ヨシ
福永ノ機体發送 四良君出發
京都ツヒニ返ナシ

▲▼174ページ▲▼ 大正8(1919)年6月12日(木)

天気 雨

八時九分ニテ福永ト上京 福永四時ニテ帰坂ス 晝食鳥飼ニテナス 阿部ニ行ク 不在
三時頃宮本氏へ行ク 露大使館員來 クロームニツケルスチールワイヤーノ注文アリ ニ
千四百キログラム ピアノ線ノコトナリシトノコトナリ
夜帰ル

磯部氏ヨリ後援會ノ規則書ガ來テ居タ

▲▼175ページ▲▼ 大正8(1919)年6月13日(金)

天気 曇

八時半ニテ上京 宮本氏ト兵器本廠ノ器材課ニ挨拶ニ行キスグ陸軍省ノ航空課長杉
原中佐ヲ訪ネタガヤハリ各務原へ行ツテ不在デアッタ 午後磯部氏ニ會ヒ後援會ノ件
収支ヲ明ラカニシ用途ヲ公表スルヲ條件トシ會ニハ吾人一切関係シナイコトトシテマカセ
ルコトニシタ。阿部ニ立寄り日本橋ノ末広ニ行キ大江氏ヲ招キテ夕食ヲ共ニシ三井ノ手
ヲ経テヒスパノスイザヲ聞合セテ貰フコトニシタ

十一時帰宅

電車ニ飛ビ乗ソコネテドロダラケニナッタ

▲▼176ページ▲▼ 大正8(1919)年6月14日(土)

天気 曇リ

終日在宅 北風強練習休

▲▼177ページ▲▼ 大正8(1919)年6月15日(日)

天気 曇晴

稲垣山県ニ君ト上京 利根氏ノ紹介ニテ菊池氏ニ會フ。東京大坂間飛行シテ貰ツテ山
県ニ報酬ハ與ヘ飛行後ハ共有物トサストノ練習費飛行機費ハ一切菊池氏ノ負擔トノコ
トデアッタ。菊池氏モ大坂ニ行カレルノデ他ハ大坂デ返スルコトニシタ 夕食後帰ル
貨車五時何分品川発

十時頃帰宅スレバ利根君來訪サレ居リ京都ノ打合セラシタシトノコトデアッタ

▲▼178ページ▲▼ 大正8(1919)年6月16日(月)

天気 曇リ

今朝利根君トノ打合セノ結果練習費八千円乃至千五百円ヲ貰フコト 山県ノ報酬ハ利根君ニ一任ノコト、共有上ノ權利ハ先方五六七、イツレニテモヨシ 但シ一ヶ年乃至二ヶ年後ハ當方ノ所有ニウツスコト、共有中飛行大會等ノ節ハ前以テ當方ニ相談差支ノナキ時行フコト 以上決定 余ハ大阪ニテ會談ノコトトス

八時半ニテ上京 スグ佐野ト宮本組ニ行ク 今出タトノコト ガストンニ電話スル 之レモ今出タトノコト 再ビ宮本組ヲ訪フ 十時十分ニテ追濱へ行ツタカラスグ來テ呉レトノコトニ電車ニテ汽車追ヒ共ニ行ク 氣球ノ瓦斯管ノ注文ナリト。ツヒデニ桑原大尉ニ會ヒ飛行機ヲ見テタ方帰途ニツク

大船ニテ一行ト分レ国府津夕食 急行ニテ出發ス 不在中ノコト佐野ニクワシク依頼ス

▲▼179ページ▲▼ 大正8(1919)年6月17日(火)

天気 曇リ

七時京都着 稻荷駅前玉屋ニ行ク 山県モ今ツイタ處ダトノコト 朝食後玉井君ノ飛行機ヲ見ニ行キ余ハスグ帰坂 梅田ヨリスグ池田ニ行キ福永ヲ見舞フ 昨夜飛行機ガツイタバカリダトノコト マダヤル日モキマラス由。飛行機ノ材料ヲ見テ帰ル 竹島ニ挨拶ニ行キ中島氏ニ電話スル 新報デヤルダロトノコトデアッタ

▲▼180ページ▲▼ 大正8(1919)年6月18日(水)

天気 晴

四時半起床 七時深草着 丁度飛行機ガ來タ處デアッタ 組立テ九時頃試験飛行 此頃ヨリ空次第二晴レテ風ナシ 問題ノ金モ時間ニハ丁度手ニ入り十時飛行 着陸ハ随分マヅカッタ シヤフトロマゲタガスグ直ス 晝食後場ニ行ク 風丁度山カラ來ル 機ヲ西南隅ニ引キ無事終ル 昨夜福永ヨリ今朝ヤルトノ電アリタル由 随分オカシナヤツダ

▲▼181ページ▲▼ 大正8(1919)年6月19日(木)

天気 雨

中島君ノ返事ヲ終日待ツタ爲メ何事モシナカッタ

晝食ハ西ノ宅デ御馳走ニナツタ
午後磯西來 五十円渡ス 昨日福永ヲ手傳ニ行ツタトノコトデアッタ
今夕西ノ宅デ又父子ケンカガッタトノコト コマッタモノダガ後兄ガ行ツタ時ハナントモ
ナカッタト云ツテ居タ

◆▼182ページ◆▼ 大正8(1919)年6月20日(金)

天気晴

十時井上長君ニ來テ貰イ中島君ヲ待チ合セ空中博事務所ニ東、高木ニ氏ニ會ヒ廿二
日午前中ニ否ヤ返聞クコトニ依頼シテ帰途南海食堂デ晝食 其マ、池田ニ行キ飛行場
ヲ見テ、コ、デ壞シタカト思フ様ナ處デアッタ 修理シテ居タノデ手傳ツテヤツタ 磯西
モ居タ 一所ニ夕方帰ル

◆▼183ページ◆▼ 大正8(1919)年6月21日(土)

天気晴

今日モ上天氣デアッタ 午後二時頃無事飛行ノ電來ル
佐渡島西店へ一寸立寄り少時談話 池田へ行ク 最モ今日ハ一寸見テ帰ル
夜夕食後遊ビニ行キ二時半帰宅

◆▼184ページ◆▼ 大正8(1919)年6月22日(日)

天気 雨後晴風アリ

今日ハダメト思ツテ居タガ午後晴レテ風ガアッタガヤツタトノ電來タ
再三電話ノ結果六時頃ツヒニ不調ノ返アリ 夕食ハ今日ハ裏デ馳走ニナリ後子朝報社
ニ中島氏ヲ訪ヒ明日毎日新聞デ聞イテ貰フコトニシタ

◆▼185ページ◆▼ 大正8(1919)年6月23日(月)

天気 曇雨

今日ハ神戸行き 約束ニヨリ十時十五分藤原ノ宅ニツイタ 小供ハ中々大キナヨイ子デ
アツタ 藤原一寸外出シタトノコト 二十分程ニテ帰ル 共ニグリヤース商会ニ行キリー
ネル氏ニ會フ 尚係リ宮川氏ヲ電話ニテ呼び色々話シノ結果カタログ見本來次第上京
スルコト 其上ニテ自分ニエゼントスルコト等ノ話シテ帰ル

○ニニテ晝食ヲ馳走ニナリ帰途住吉ニ寄ル 夫人モ不在デアッタ スグ帰ル

▲▼186ページ▲▼ 大正8(1919)年6月24日(火)

天気 晴

九時頃鳥飼山県來 丁度ソコへ福永モ來 練兵場デヤリタイトノコト 朝食後自動車ニテ、ジヤイロヲ見ニ行キスグ其儘天下茶屋ノ一森君ヲ訪ヒ飛行機ヲ見ル 岩名モ見タ 發動機ハマキシムモーター百馬力 ドーモ感心シナイエンジンデアッタ
新世界ニテ晝食後師團へ行クベク中島氏ヲ訪ツタガ今日ハ師團ノ將校射撃ガアルノデ ダメダトノコト 帰宅 福永帰ル 鳥飼氏モ來 一寢入シテ四時半ヨリ電氣館ニ行キタ 食後鳥飼氏ヲ梅田迄見送り小雪ニ帰リテ遊ブ 丁度井上君ガ石田氏ヲ連テ來タノデ 大ニツム 十一時過ギ石田氏ヲ送リトゞケ余ハ帰宅 山県ハ裏ニマツテ居タ

▲▼187ページ▲▼ 大正8(1919)年6月25日(水)

天気 晴

山県神戸へ行ク 自分ハ九時半朝報社ニ行ク 二人トモ來テ居ナイノデ前中ニ立寄り 西佐渡島ニ行ク 岩井迄今日出タトノコトデアッタ 朝報ニ電話デ打合セニナシ十時過ギ長堀橋デ會ヒ中島氏ト福永ト師團ニ行 西出ノコトガアツテ始ダカラドウカト思ツ タガスグ貸シテ呉レテ日取りノ都合ヲタ方迄社へ通知スルトノコトデアッタ
イツモノ倉庫ヲ借り松ノ家ニ晝食 中島氏ハ急(ママ)ガシイノデワカレタ 二時頃飛行機來 手入ヲナシ五時頃試運轉シテ帰ル 藤原ト山県ガ待ツテ居タ 夕食後藤原帰 神 余ハ山県ヲ梅田迄送り尚不在中ノコトト金百円送ツテ貰フコトヲ依頼ス

▲▼188ページ▲▼ 大正8(1919)年6月26日(木)

天気 晴

終日記事ナシ 用ナキニ苦シム
午前西店ニ行キ將來ノ方針ヲ話シ次ギノ點呼ニ帰ル迄ニ自分ノ方モ具体的ニ計算書ナド提出スルニ主人モ考ヘテ居タトノコトデハカレタ 例ニヨツテ説明振りハ大ニ悪ルカッタガ 自分トシテハベストヲツクシタ

▲▼189ページ▲▼ 大正8(1919)年6月27日(金)

天気 曇リ晴

今日モ一日ヒマダ 伊セノ姉ハ明日帰ルトノコトデアッタ 小供ニ二円ヤル
夜イントラレンスヲ見ニ行ツタ 複雑ナ大ゲサナ写真デアッタガ教育的ノモノデ面白イト云フモノデハナカッタ

▲▼190ページ▲▼ 大正8(1919)年6月28日(土)

天気 曇り

九時頃福永來 共ニケン兵隊ヘトゞケニ行キスグ倉庫ニ行キ機体ニプレシヲ取付エンジンテスト 五分程廻ス内ドウモ變ナノデスグストップシテ見タラ水ガ入レテナカッタ 自分モウツカリシテ居タガ克蘭ヲ知ラナイ内ニ福永自身又イテシマッタノダソウダ 内部ヲシラベタガ別ニナントモナイノデ再ビヤツテ見タ 二分程廻シタガ異状ナイノデ中止シテ帰ル 丁度五時頃デアッタ

▲▼191ページ▲▼ 大正8(1919)年6月29日(日)

天気 晴

目ガ醒メルトモ一眞赤ナノデ時計ヲ見ルト五時 大急ギデ行ツタ 松ノ家ヘ昨夜泊ラナカッタトノコト ダレモ居ナイ 六時半頃四郎外大勢來タ 大ニシヤクニサワツタガ組立ホトンド出來タ 八時頃ヤツト朝雄ガヤツテ來タ 組立出來タガ騎兵ノ演習ヲ待ツノ二十時過ギニナル 其前場内ヲ見ニヤル 昨日半分シカ見ナカッタト云ツテ居タカラ、微風ナガラ西南カラ吹イテ居タノデ東北隅迄滑走デ行キ西南隅ニ向ツテ走ル。悪イト思ツタラスグ直線デ降りヨトソレダケ注意ヲ與テ出發 離陸後少シ上柁スギルト思タガ其マ、グン、登ツテ行キ兄弟ノ拍手ト萬歳デ暴(ママ)音モナニモ聞エナカッタ 其内東ニ向ツタガドウモ上ガラナイ 再ビ北ニ向ツタ頃ハ次第二沈ンデ行ク様デアッタ 上柁ヲ引イテ居ルガ一向上ガラナイ内大キナ二本ノ木ガアッタノデ向ツテ返ルト思フ内エノ木ノ方ヘ正面障(マ)突ヲヤツテ突ヌケテ落チニ行ツタ スグカケツケタガ人ハ無事 ヤツト安心スルトナントモ云エナイ色々ナ感ジガシテ來タ 十二時屋根ヨリ全部降りタ 機ハ津田沼ヘ送ルコトニシテ余ハ井上君ト帰途金ナベニテ馳走ニナリ帰宅 入浴 タ方ヨリ住吉ニ行キ佐渡島主人ニ會ヒ十時半帰宅

▲▼192ページ▲▼ 大正8(1919)年6月30日(月)

天気 晴

入浴後福永ノ來ルノヲ待ツタガ十時迄ニ來ラズ 神戸ニ行ク ○三ニテ藤原ニ會フ 神戸飛行モダメ スグ帰坂 池田ニ行ク 大坂ヘ行ツタトノコト 帰宅ス 佐野ヨリ手紙來露国ヨリ百台ノ注文アリ内十台カ二十台ヤツテハドウカト宮本氏ヨリ話アリ 明日參謀本部ニ行クトノコトデアッタデスグ車デ佐渡島ニ行 主人ニ其話シヲナシ万一注文アツタ節ハ見合フ依頼ニテ引取ル

▲▼193ページ▲▼ 補遺

發動機返ナシ
陸軍方面大二努メタリ
アンザニー完成セズ
ホールスカット設計未完

▲▼194ページ▲▼ 七月

東京大坂間懸賞飛行
陸軍方面尚進行セシムルコト
アンザニ完成
ホールスカット、グレゴア着手ノ事
發動機確定スルコト

▲▼195ページ▲▼ 大正8(1919)年7月1日(火)

天気 曇後晴
七時四十分ノツモリノ處時間表ノ見違デアッタ 八時二十八分大坂発 四良君ト井上君ガ発車追見送ツテ呉レタ 八時半東京着 両国ヨリ鳥飼氏へ電話ヲカケ九時十分ニテ発車 十一時帰宅 山県佐野ガ居タ 信太郎モ起キテ居タ

▲▼196ページ▲▼ 大正8(1919)年7月2日(水)

天気 曇少雨
金銭出納ヲ明ラカニシ午後庭ガ草ダラケニナツテ居タノデ手入レヲナス
午後練習アリ
新入生ガ一人アッタ 今日又一人來タ。先キノハ新開 アトノハ川上デアッタ

▲▼197ページ▲▼ 大正8(1919)年7月3日(木)

天気 曇少雨
簿記研究 練習アリ 杉本直線大ニヨシ 照井マダ、ナリ

▲▼198ページ▲▼ 大正8(1919)年7月4日(金)

天気 曇晴雨

練習休 青島プロペラ製作ニチヨリナニテ足ヲ傷ケル
太田買物ニ上京セシム

▲▼199ページ▲▼ 大正8(1919)年7月5日(土)

天気 晴

九時十分ニテ上京 深川へ檜材ヲ買ヒニ行ク 佐藤ニ注文ニ寄り鳥飼ヨリ阿部ニ行キ帰
途鳥飼ニテ夕食後帰ル
買物数點

▲▼200ページ▲▼ 大正8(1919)年7月6日(日)

天気 曇リ

今日ハ上半期ノ決算ヲ行ヒ夜山県佐野青島ヲ呼ビ報告シ兼ネテ將來ノ方針ヲ語ル
午後アンザニー機ノプレインヲ一寸ヤツタ
夕方福永ヨリ材料昨日送ツタ朝雄今日出立ストノ電アリタリ

▲▼201ページ▲▼ 大正8(1919)年7月7日(月)

天気 曇雨

各地大出水 広島県下最モ甚ダシ
昨日一所シタ小鳥文鳥ガ又カナリヤライジメルノデカナリヤヲ他へウツシ内一番ヲ河
村へヤツタ

仕事ハアンザニーノプレイン
夕方福永來 機体モ到着 夜一杯ノンダ處タチマチ眠ツテシマッタ

▲▼202ページ▲▼ 大正8(1919)年7月8日(火)

天気 曇リ

朝一寸製圖

今日ハ福永ノ機体製圖 プロペラ塗りヲナス

夜就寝後左官ノ親父ガヨッパラツテヤツテ來タ家ヲ健(ママ)テ、ヤルト世間へ云ヒフラシ
タトテ大立腹デヤツテ來タ 何ニ(ママ)ガナンダカサツパリ訳ガ分ラナカッタ サメレバ

オチツクダロー

今日夕張カラ一人來タ 木工二入レルコトニシタ 夜左官屋ノ親父ガ來タ時ナダメテ家
マデ連レテ行ツタ

午後千葉へ滑車ノ引初ヲ注文ト白戸ヲ見舞ツテ歸ル

▲▼203ページ▲▼ 大正8(1919)年7月9日(水)

天気 晴

朝一寸製圖 九時十分ニテ上京 丁度アルサスローレンノトキクヨガ歸ルノト同ジ列車
デアツタ

佐藤へタンバック百個注文 原へ支拂金ヲナシ原ノ照介ニテ材木屋へプロペラ材料注文。
阿部ニヨル 不在 大江氏ニ行ク 同ジク不在 宮本組ニヨリ今日有坂大尉ニ行ツタト
ノコト 鳥飼ニヨリスグ歸ル 成田へ參ツテ歸ツタトノコトデアツタ 山県今日テールスピ
ンヲ行フ

左官屋ノ親父ハ今日ハ大ナイフヲトイダリシテ居タソウダ

▲▼204ページ▲▼ 大正8(1919)年7月10日(木)

天気 晴

照井正面障(ママ)突ヲナス
ノームオイル多ク調子悪ルシ

稲毛ヨリ姉來 夕方歸ル

大坂宅佐渡島へ手紙出ス

広サン今日カラホールスカットニカゝル

▲▼205ページ▲▼ 大正8(1919)年7月11日(金)

天気 晴

今日ハ頭痛ガシテタマラナカッタ

ハギモノ室出來上ツタ 予定ヨリ余程材料ニカツタ。アンザニープレシヤツテ午後三時
頃カラ床ニツイタ

井上長、宮川、磯部、大江氏等手紙出ス

▲▼206ページ▲▼ 大正8(1919)年7月12日(土)

天気 晴

補永

山県上野飛行アリ 余宮本組へ十時二行ク 大江氏宮本氏ニ會フ 發動機ノ件三井ハ高クテダメ 最後陸軍、海軍、トイケナケレバガストンへ二千円程預ケテ米國迄買ヒニ行クト云フコトデ結果明日浜町ノ幸榮デ會フ約束デ分レ阿部ニ立寄り明日ノ打合せヲナシ鳥飼ニ立寄り帰ル
帰リテグレゴアノ製圖ヲナス

▲▼207ページ▲▼ 大正8(1919)年7月13日(日)

天気晴

九時廿分デ來ラレルトノコトデ居ルト八時半頃井上閣下一人デテク、ヤツテ來ラレタ ソレ迄余ハグレゴアノ製圖ト寸法ヲ出ス 十時半頃阿部大江氏來 余ト大江氏ニ二時四十分ニテ上京 幸榮ニ行ク 宮本氏一人お盆ノ遊好デ十四五五人ノ藝者ヲ集メ遊興シテ居タ 話ノ要領ハ明後日午後四時會フコトニシテ帰ル

▲▼208ページ▲▼ 大正8(1919)年7月14日(月)

天気晴

今日ハアンザニー機プレーノフチャツケ終ル 大ニ働イタ

練習機出來上ル

昨日榮來

▲▼209ページ▲▼ 大正8(1919)年7月15日(火)

天気晴

五時起床 五時半出發 六時十九分發四ツ街道ニ行ク 一行自分ノ外十六名 場ニツク 中山軍曹スグ出テ來テ案内サレ写真ト電氣ト飛行機デアッタ 各部門ニツイテ専門(ママ)ノ將校ノ講演アリ 大ニ益スル處アリタリ
十二時二十三分ニテ帰ル 余ハスグ其マ、上京シテ兩國ニテ晝食 四時宮本ニ行ク 明日海軍省ニ同伴スベク約シ阿部ニ行ク 夕食ヲ馳走ニナル。パタソン飛機六千円現金外五千円出資者アリ 計一万一千円ニテ賣ルトノコト 明日尚百二十ノ方ヲ聞イテ貰フコトニシタ 帰途鳥飼ニヨル
練習機ノ話アリ 終列ニテ帰ル

▲▼210ページ▲▼ 大正8(1919)年7月16日(水)

天気 晴

グレゴアノ木材書出シヲナシ十時ニテ上京

今日ハステキニ眠カッタ 宮本氏ハカケ違ッテ會エナカッタ 阿部ニ行 金子中佐ヲ訪フ 役所ハ午前中トノコトニ青山ノ自宅ヲ訪問(ママ)ス 横須賀へ行ッテ土曜カラ日曜へ帰ッテ來ルトノコトデアッタ。阿部一人櫛引へヤル 十八日午前十時頃返スルトノコトデアッタ 福永ト三人。パウリスタニ行キ阿部ハ尚フオール大佐ノ許へヤル 自分等ハ夕方方帰ル

▲▼211ページ▲▼ 大正8(1919)年7月17日(木)

天気 晴

今日ハアンゼニー機ノエレロントユレベーターテールヲ作ル 阿部ヨリフオール大佐ノ返事アリ 全部陸軍へ納付シタトノコト

▲▼212ページ▲▼ 大正8(1919)年7月18日(金)

天気 晴

車ナク八時三十七分ニテ上京 途中二等ノパス紛失ス 上京 宮本氏ト十一時頃海軍省ニ行 有坂大尉不在 宮本ノ勢力モホウカビ得ラル 最早ダメナリ 晝前鳥飼氏ニテ阿部ト會フ 櫛引ノ方七千円ニテ二台使用セシムベク賣金三分ノ一ヲ呉レトノコト 此方ハ前ノ行懸リアルニヨリ鳥飼氏ニ依頼ス 余ハ阿部ト井上少将ヲ訪問(ママ)ス 不在 明後日日曜ハ最(ママ)非會ヘル様阿部ニ明日聞合セ打電スルコトニ打合セテ帰ル

▲▼213ページ▲▼ 大正8(1919)年7月19日(土)

天気 曇晴雨

エレベーター製作 プレン断ツ

山県上京

▲▼214ページ▲▼ 大正8(1919)年7月20日(日)

天気 晴

方向舵ヲ作ル

午後グレゴアノ金物製圖

櫛引ノ件佐伯氏行ッテ呉レルトノコトダガ阿部ノ話トカラミ合ッテ櫛引ノ感情ヲ害シテハ何ンニモナラナイコトニナル

謝君今日一万円位ノ飛行機ヲ買ッテ呉レトノ依頼デアッタ

▲▼215ページ▲▼ 大正8(1919)年7月21日(月)

天気晴

鳥飼氏來ルトノコトデ待ツタガ終日來ナカッタ

右ノ親指ガ痛ンデナンニモ出來ナカッタ

池ノコヒガ死ニノノデ池ノ水ヲカエタリシタ 二三十尾死ンダ

▲▼216ページ▲▼ 大正8(1919)年7月22日(火)

天気晴

午後小栗ト白津來 三時間バカリ話シテ居ル處へ鳥飼氏佐伯氏トエンジンヲ持ツテ來タ。
間モナク小栗氏等歸ル 鳥飼氏等夕食後歸ル

▲▼217ページ▲▼ 大正8(1919)年7月23日(水)

天気晴

午前小栗來 山県飛行ス

晝前徳永氏來 食糧研究会ノ広告飛行ヲ云ツテ來ラレタガ事ワルコトニシタ 午後上
京 山県ト共ニ協会ニ行ツタ 長岡中將モ居タ

歸ツテ阿部ニ會ヒ共ニ櫛引ニ行ク 條件ガアマリ馬鹿シイノデ明日發動機ヲ見セテ貰フ
コトニシテ歸ツタ明朝條件ニ対スル理由ヲ書イテコトワルコトニシタ 夕食後九時十分ニ
テ歸ル 汽車ニテ稲垣氏ト會フ

阿部ドシテモ百ナケレバ雜誌ガ出セナイトノコトニ明日間ニ合セテヤルコトニシタ 五十
円ダケハ自分帰坂道ニ返スコト

▲▼218ページ▲▼ 大正8(1919)年7月24日(木)

天気晴

グレゴアノ現圖ヲ引ク

宮内上京セシメ塗料ヲ買 阿部へ百円持タセテヤル。午後歸ル 櫛引ノ件條件大ニアラ
タマリタリトノコト 明早朝鳥飼氏來ル筈

信田ヤメルコトニナリ佐野ノ處ニ事ワリニ寄ツタ由

▲▼219ページ▲▼ 大正8(1919)年7月25日(金)

天気 晴

十時頃鳥飼氏ヨリスグキタレトノ電アリ上京ス ソレヨリ前阿部ヨリ手紙來 此度ノ條件ハ井上氏ノ五千円デ百五十馬力ソノマ、貸與 三分ノ一提供ト云ツテ來タ 鳥飼氏ハ四分ノ一ニシタラトノコトデアッタガソレデハ甚ダ話シガキタナイノデ費用差引タ三分ノ一ト云フコトニ話シスベク阿部ニ會ヒ傳言ス 明朝行ク由

▲▼220ページ▲▼ 大正8(1919)年7月26日(土)

天気 晴

八時ニテ千葉ニ行ク 思ヒカケナク妻君ガ帰ツテ居タ ビールヲノミ土産ヲ貰ヒ三百円受取ツテ帰ル
午後エロマリン(アンザニーニ代ル)ノ柱ヲソツケトニオサメ長サヲキメケツル

▲▼221ページ▲▼ 大正8(1919)年7月27日(日)

天気 晴

鳥飼氏來 阿部ヨリ通知ナシ 鳥飼氏ニ手紙ヲ依頼ス
グレゴアノ金物ヲ製圖ス

▲▼222ページ▲▼ 大正8(1919)年7月28日(月)

天気 晴

グレゴア金物製圖阿部ヨリ手紙來 櫛引又話変リタリトノコト 要領ヲ得ズ上京スマタヨク張ツタカラコトワツテ帰ツテ來タトノコト 後三時半頃阿部ノ宅ヲ出テ井上少将ヲ訪フ 明後日午後八帰宅トノコト

▲▼223ページ▲▼ 大正8(1919)年7月29日(火)

天気 雨

百姓ノ嬉(ママ)ブヨイ雨デアッタ
九時ニテ上京 鳥飼氏ニ行ク 花田ノ自動車ガ八王子デ動カナクナッタ今朝行ツタトノコト 宮本組ニヨル 三菱へ交渉シツ、アルトノコトデアッタ。ガストンカラ返事ガアッタ
カーチス90五千九百円 ローレンス60三千五百円、リバーチー一万〇五百円デアッタ

▲▼224ページ▲▼ 大正8(1919)年7月30日(水)

天気 雨

十時ニテ上京 鳥飼氏ニヨル 阿部ノ話ガ最初金ヲ六七千円準備アル様云ツタ爲メ向
フデハアルダケ出サシムルツモリニナツタラシイトノコト ソコデ今度ハ機体ノ金ダケアル
ト云フコトニシテ話シテスグ大坂へ旅行中菊池へ電報ヲ打ツタトノコトデアッタ 阿部ニ
行ク 井上閣下マダ帰ラナカッタ。夕方両国ノ政吉ニヨリ夕方九時十分ニテ帰ル

▲▼225ページ▲▼ 大正8(1919)年7月31日(木)

天気 曇リ

エロマリシ小型機ノ支柱ヲ塗ル

グレゴア―支柱ノ色ヲキメ型ヲ作ル

山県ノ女佐藤某上京 夜佐野ノ宅迄ツレテ來タトノコト

夜榮、五百歳來遊 何ニカ話シニ來タラシカッタガ猶云ワズニ歸ヘツタ

▲▼226ページ▲▼ 補遺

アンザニー發動機変更 今月完成セズ

ホールスカットグレゴア着手セリ

發動機確定セズ

陸軍方面發動機交渉ノ外一時中止

▲▼227ページ▲▼ 八月

アンザニー機完成

ホールスカットグレゴア大体完成

發動機確定 機体製作着手

陸軍運動

謝君發動機注文 機体製作着手

▲▼228ページ▲▼ 大正8(1919)年8月1日(金)

天気 曇

午前中帳簿ノ整理ト機体製作ニ必要ナ諸部分ノ書ヌキヲナス

謝君父明日上京スルトノコト 發動機ノカタログヲ與ヘル 川上十五六日頃迄休ムトノ

コト

久保田入学ノコトニナル

▲▼229ページ▲▼ 大正8(1919)年8月2日(土)

天気 雨

又梅が来様ニ今日モ雨デアッタ 福永上京

自分ハプレン組立ヲヤッタ 佐野エンジン、山県操縦席ヲヤル

謝君父夜下宿迄来タル

▲▼230ページ▲▼ 大正8(1919)年8月3日(日)

天気 曇雨

鳥飼氏来

謝君父外二名来 謝君ノ将来ニツキ聞カレテ飛行機ヲ作ルコトニナッタ カーチス90
—100十一月中渡シト云フコトニシタ。謝君台湾飛行ノ節ハ自分ガ行ケナケレバタレ
カ一人ツケテヤルコトニ決定ス 賣渡契約書ヲ作ル 初メテ一万円ノ飛行機ヲ作ルコト
ニナッタ

▲▼231ページ▲▼ 大正8(1919)年8月4日(月)

天気 晴後風

鳥飼氏来 フランクリン大ニ廻ル

午前簿記ヲナシ後チグレゴアノ金具製圖製作

夜五百蔵ト栄来ル 五百蔵金策ツキ栄ノ助手トナリインディアンニテ練習シタシトノコ
ト 五百蔵練習ヲヤメ栄ノ助手トナルコトハ差支ナケレドモスグ練習スルト云フコトハ本
所練習生動ヨウノモトイニ付許可ヲ與ヘズ 鬼頭氏へ本所ヨリ手紙出シテヤルコトニシタ
夜風ツヨクナル

▲▼232ページ▲▼ 大正8(1919)年8月5日(火)

天気 曇リ

記事ナシ

▲▼233ページ▲▼ 大正8(1919)年8月6日(水)

天気 晴

七時半ニテ上京 古金屋ニテ買物ヲナシ不足ヲ佐藤ニテ求メ鳥飼氏ニ行キ櫛引ニ行ク
村田櫛引ニ會ヒ五百蔵ノコト頼ム。

明日面會ヲ約シテ帰ル。阿部ニ行ク 井上少将電話セシモマダ帰ラズ

鳥飼ニ帰り稲垣氏ト晝食後宮本ニ行 丁度ガストンノ宮本氏來合セ居リカーチスノ期
間値段等ヲ聞合セル 帰りテシラベルトノコトニ四時頃迄カゝル 帰途兩國ノ鳥屋ニ立
寄り稲垣氏ト大ニノム 然シテ稲垣氏ノ今後ノ方針ヲ聞キ本所ト運命ヲ共ニスルト云
フコトニ一致ス 大ニ安心ス

▲▼234ページ▲▼ 大正8(1919)年8月7日(木)

天気 晴

山県ノ女ノ父午後來 其爲メ大ニ手ガ引ケタ お春サンガ大ニ励ツテ兎ニ角説得シテ
帰スト同時ニ太田ニサガシヤル 金百円持參セシム

夜山県帰ル 佐野宅ニテ會フ 女ハ今四時ノ時(ママ)車ニテ帰ヘシタトノコト

五百蔵ト福永櫛引ヘ行ク 五百蔵ノ方ヨシ 福永ノ方話マトマラズ

▲▼235ページ▲▼ 大正8(1919)年8月8日(金)

天気 晴

練習アリ 小型機ノ牽引力試験ヲナス 鳥飼氏來 百四五十瓦ヨリ引カズ中止ス
テール取付操縦線ヲ張ル

田村利男ナル人鈴木專太郎ノ土地賣渡シ依頼状ヲ持チ來ル 丁度鳥飼氏ト話シテ貰
フ

昨日ノ神戸ノ人來 山県ニ最(ママ)非會ヒタイトノコト マダ帰ラヌト云フコトニシテ兎
ニ角帰ス又明朝來ルトノコト

自分山県ノ様子ヲ尋ネルニ大分熱高ク兎ニ角今少シハナシテ時期ヲ待タセルノ外ナシ
女ヨリツヒニ帰着ノ電報來ラズ 心配ノ内ニ床ニ入ル 太田夕方帰ル 土産ナシ

青島三四日ノ予定ニテ出ス

▲▼236ページ▲▼ 大正8(1919)年8月9日(土)

天気 晴

練習アリ

學校ト製作所ヲ別ニスベク條件ヲ山県佐野ニ相談書付ニス

七月分決算ヲ行フ 六百余円ノ不足

▲▼237ページ▲▼ 大正8(1919)年8月10日(日)

天気晴

グレゴア機体組ム

矢野氏來 晝食ヲナス 稲垣氏共上京ス

謝君請求ス

▲▼238ページ▲▼ 大正8(1919)年8月11日(月)

天気晴

グレゴア機体組立。余不在中ノ事佐野ニ依頼ス

十時頃磯部氏來 着組幕(余ノ服ノ名)ノ設計ノ爲メ製作一名ヲトモナヒ來ル 晝食
後帰ル 太平洋横断期成会ノ話モ出タガ十萬円デヤルトノコト 飛行機ハ六万円デカ
ーチス会社(注文スルトノコト)デンテモノニナラナイ ヤルナラ今少シ研究シナケレバ駄
目ダ 最モマダドコヘモ發表シテ居ナイソウダ

▲▼239ページ▲▼ 大正8(1919)年8月12日(火)

天気晴

上京ノ予定ノ處鳥飼氏來 共同経営組織ノ件話 條件通リスグマトマル

利根氏突然來 菊池君ガ帰ツテ來タカラ明日會ッテ例ノ件取極メタイトノコト 櫛引
ノ方ヨリ菊池氏ヨリ話ツツケテ貰ツタ上御面會仕様ト云フコトニナリ今日其話ハツケル
カラ明日十時來テ吳レトノコトニ約束ナル
午後成田山ニ參詣 成功ヲ祈ル

▲▼240ページ▲▼ 大正8(1919)年8月13日(水)

天気晴

七時半ニテ上京 佐藤ノ勘定先月迄ヲキレイニナス 鳥飼ニテ山県待合セ菊池氏ヲ訪
フ 會社へ行ツタトノコト 帰宅 利根君ヲ待ツ 謝君父子來 二千五百円手金受取ル
日比谷松本ニテ晝食後利根ト三人菊池氏ノ交通機会社ニ訪問ス 五十円ハ例ノ井上
氏ヨリアルミ半金五十円デ百二十五ヲ君タチニマカセル ソシテ賣タリ何ニカシタ場合
ニ幾分ヲヤツテ貰ヒタイトノコト ソコデ百五十ノ方モナントカスルトノコト

歸ツテ鳥飼氏ニ相談 尚細カイ點ヲ議シ山県鳥飼ニアト依頼シ出來次第打電 自分大
坂ヨリ金策スルコトニシテ四時出發ス 車中大江氏ト會ス

▲▼241ページ▲▼ 大正8(1919)年8月14日(木)

天気 曇雨

六時半梅田着 スグ點呼ニ參集 一時終リテ梅田ニ荷物ヲ取りニ行キニ時帰宅 井上君ノ來ルノト大江氏ノ來ルノヲ待ツタガツヒニ來ナカッタ 夕方酒井君來 太田ヲ呼ビニヤリ旧友ト雁風樓ニ夕食ヲ共ニシ小雪ニテ一サワギシテ酒井ヲ宅ニテ自動車ヨリ送り帰宅 床ニツク 十二時

▲▼242ページ▲▼ 大正8(1919)年8月15日(金)

天気 曇晴

随分暑イ日デアッタ 暴風ヲオソレタガソレラシイコトモナク午後カラハ少シ晴レ気味ニナツタノデタ五時ニテ四日市ニ行ク 吉徳旅館ニ入ル 晝間中君ト空中博ヲ見ル 井上君來 今日和歌山カラ人ガ來テ取引スル筈トノコトニ依頼シ金ハ兄ヨリ小切手ヲ渡スコトニス 今早朝鳥飼氏ヨリ話ヨリ極テ〇四〇〇〇デヨシスグ來ルカヘントノコトニ持合セノ千円ニ兄カラ五百円借千五百円ヲ住友銀行ヨリ電送シ二千五百円ハ謝君ノ手金ヲ使用スル様打電ス

▲▼243ページ▲▼ 大正8(1919)年8月16日(土)

天気 風雨

目ガサメルト雨ト風ノ音ニ非(ママ)觀ス 八時迄床ノ中ニ居リ朝食後日記ヲ二三日分一所ニツケ玉井氏宅ニ行ク 父母モ非常ニ嬉(ママ)バレ其内野島氏粟津氏ニモ會フ 中大坂ヨリ來 晝食ヲ馳走ニナリ玉井君馱見送ラレ帰坂ス 八時大坂着 中君ト夕食 大坂ハ今日ハ雨モ風モナカッタトノコト

▲▼244ページ▲▼ 大正8(1919)年8月17日(日)

天気 曇

十時頃佐渡島西店ニ行ク 主人ニ會フ 約一時間バカリ會見シテ四千円出資ヲ得タ 成ルベク竹島ト均等ニトノ話デアッタ ジヤイロ引取ル

▲▼245ページ▲▼ 大正8(1919)年8月18日(月)

天気晴

朝竹島ニ行キ要領ヲ話シテ引取ル
ジヤイロ不足ノ品井上君ニ頼ミノ手紙書ク ジヤイロ箱ニ入レ荷造シヲナス
四時頃酒井、青木君來 太田ヲ呼びニヤル
鳥飼氏ヨリ來電 又話變ツタ 五十円入ルトノコトニ今夜出發スルコトトス
友人右三人ダケデアッタノデ雁風呂ニ行ク スツカリムカシノ友ニナツテ大ニハシヤイデ
分レタ

九時五十分ニテ清平ヲ連レテ帰ル

▲▼246ページ▲▼ 大正8(1919)年8月19日(火)

天気晴

途中ハ曇テ居タガ東京ハ晴レテ居タ
鳥飼氏ニ話シヲ聞ク

百二十五馬力八千円ニテ買取ルコト 四千円ハ手金 アトハ懸賞後ノコト 百五十馬力
ノ方借貸(ママ)料千円出スコトノ話シデアッタ。山県ト三人ニテ菊池氏ヲ訪ヒ右條件
ニテ契約スベク行ク 處ガ又話シガカワツテ百五十ノ方三千元 見セナケレバドウシテモ
行ケヌトノコト二百二十五ノ方ダケ明日契約スルコトニス
菊池氏大坂ニ行 井上ニ二千元出サセルトノコトデアッタ 其上ニテ百五十ノ方話スコ
トニス

▲▼247ページ▲▼ 大正8(1919)年8月20日(水)

天気晴

十時迄仕事ヲナシ山県ト上京ス 布其他ノ買物ヲナス 菊池ヨリノ話オソクナリ五時
半頃ヤット會見ノ運ビナリ鳥飼氏ノ發意ニテ菊池野田屋ニ案内ス 終列ニテ帰ル
百五十ノ方眞ノ持主渡辺トワ氏ヨリ自動車三台(二千元位ノモノ)ト交換シテ呉レト
ノコトデアッタトノコト 鳥飼氏ニ依頼ス。百二十五ノ方モ八千円ニテ渡辺氏ト直接契
約ヲナス

▲▼248ページ▲▼ 大正8(1919)年8月21日(木)

天気晴

五時起床千葉ニ行ク 今朝所沢へ行ツタトノコトニ白戸ニ行キアンマヲ取ル 居眠ヲシテ
実ハガユカッタ。十一時頃ヨリ稲毛ニ行キ晝食後一寢入シテ夕方徳永氏ヲ訪フ マダ
帰ラヌトノコトニ明朝ヲ約シテ帰ル

▲▼249ページ▲▼ 大正8(1919)年8月22日(金)

天気晴

五時起床 徳永氏ヲ訪問 ハンドキップヲ附スルコト 保(ママ)助金一台五千円ツヅカ機
買取ルカ朝鮮海峡横断飛行カニツヲ願出ス 買取ルコトハ見積リ 海峡横断ハ願書ヲ
イツレモ至急出シテ呉レトノコト 晝宅(ママ)後手紙ヲ整理シ金銭出納ヲナシ鳥飼氏ト
上京ス 協会ニ行ク スデニ皆帰ツタアトデアッタ 郵便飛行参加申込書ダケ提出ス。
阿部ニ行キ海峡横断ノ願書ヲ書カセル 夕食ヲ馳走ニナリ帰ル

▲▼250ページ▲▼ 大正8(1919)年8月23日(土)

天気晴

在宅

山県ゴーハム式組立ニカハル
飛行機ハ別ニ感心スル様ナ處モナカッタ
發動機ハ米國モノトシテハヨク注意シテ作ラレテアッタ

▲▼251ページ▲▼ 大正8(1919)年8月24日(日)

天気晴

ゴーハム式組立ヲナス

今日初メテ終日在宅 ノンビリトシタ 宅 佐渡島へ手紙出ス
鳥飼氏ノ話シニ自動車ノ安イノガ見ツカッタカラ買ツテ居ケハゴーハム百五十ト替ヘルニ
シテモタゞ賣ルニシテモ千円位ハヌケルトノコトデアッタ アマリ話シハヨスギルガ半分位ニ
見テモ損ノ行クコトモアルマイ ソレニ入用ハ免ジテ居ルノデアルカラ明日金渡スコトニシ
タ

▲▼252ページ▲▼ 大正8(1919)年8月25日(月)

天気晴

グレゴアプレーン端ヲツケル

ゴーハム一行十二時頃來 晝食後エンジンテスト二回 バッテリーヲツケタガマグネトニ
テ廻ツタ ゴーハムガペラヲ廻シタ 初メ四分アト五分廻シタ 五分後ニハチャリンヽヽヽ、
ヤツタ 少し早イト思タガ飛ベタ 何時間デモ差支ナイトノコトデアッタ

鳥飼氏へ昨日ノ話シノ自動車代千六百円ト同コミッション百円、ト外三三百円 ベニ

千円 内千五百円ヲ爲替(式百円券七枚百円一枚)現金五百円渡ス

▲▼253ページ▲▼ 大正8(1919)年8月26日(火)

天気晴

腹ガ痛ンデ終日何事モセズ 夕方佐野モ同ジク今日ハ休ンデ居タノデ見ニ行ク

▲▼254ページ▲▼ 大正8(1919)年8月27日(水)

天気晴

今日ハ腹痛モヤ、ヨクナッタ

夕方カラ徳永氏ヲ訪問 マダ帰ツテ居ラレナカッタノデ白戸ニ行キ夕食ヲ馳走ニナリ再
ビ行ク 又ビールヲヌイテ馳走サレタガヤレナカッタ。朝鮮海峡飛行懸賞飛行等ニツキ
會話 余リ話シニ氣乗レガシナカッタ 九時ニテ帰ル 藤原申込ミヲナシタル由

▲▼255ページ▲▼ 大正8(1919)年8月26日(火)

天気晴

六時半ニテ清平ヲ東京見物ニツレテ行ク 泉岳寺増上寺日比谷宮城九段上野淺草ト
廻ル

六時ニテ帰ル

信太郎海岸ニテ遊ブ中水ニ入り夕方波ニサラワレ一時大サワギナシタル由

▲▼256ページ▲▼ 大正8(1919)年8月29日(金)

天気晴

ゴーハム飛行ス 廿五分 高度千二百米

鳥飼氏來 信州ノ飛行ノ交渉ヨリ其人ヲ連レテ來ル

▲▼257ページ▲▼ 大正8(1919)年8月30日(土)

天気晴

五時起床 六時半ニテ上京 清平ヲ八時半ニテ出發セシム トナリニ老人ガ居タノデヨ
ク頼ンダ

鳥飼阿部帝国飛行ニヨル マグネトヲ宮本組ニテ買フ

今日青島同乗 稲毛ニ着陸 再ビ飛揚 約二三十分飛行セリト

▲▼258ページ▲▼ 大正8(1919)年8月31日(日)

天気晴

午後謝君ヲ同乗セシメ東京ニ飛行ス 時間四十六分ナリ

▲▼259ページ▲▼ 補遺

アンザニー完成セシモ飛バズ

ホールスカットグレゴア意外ニ手間取ル

發動機飛行機ゴーハムヲ求ム

陸軍運動中止

謝君ゴーハムヲ譲ルコトニス

▲▼260ページ▲▼ 九月

グレゴアホールスカット中頃迄ニ完成

百五十馬力買入機体製作ニカゝルコト

郵便飛行

▲▼261ページ▲▼ 大正8(1919)年9月1日(月)

天気晴

七時半宿ヲ出飯沼君ノ案内ニテ飛行場ヲ見馬車ニテ太田ニ行ク 誰レモ居ラズ 休日
トテ一部分ノ外ホトンド休ンデ居タ 栗原氏ノ案内ニテ一通リ見學シ大野屋ニテ晝食
停車場ニ至ル 丁度戸川君居テ挨拶ヲナシニ時四十分ニテ帰ル

▲▼262ページ▲▼ 大正8(1919)年9月2日(火)

天気晴

千葉カラ東京ヘ行クツモリノ處白戸ニテオソクナリタ方舟ニテ帰ル 白戸同伴
飛行アリ

▲▼263ページ▲▼ 大正8(1919)年9月3日(水)

天気晴

上京 宮本組ニ行ク 米國へ行ク人今日來テ居ナイトノコト リバーチーストックヲ進メ
ル
鳥飼氏ニ立寄ル プレシヤーゲージヲ買ツテ貰ヒ、羅進機ヲ日本計器へ持ツテ行ツテ貰
フ 帰途浅野板ヲ注文シプレレンノ布ヲ買ヒ、白戸ト約束ニヨリツバメニ行ク 丁度五時
頃デアッタ 八頃ヤットヤツテ來タ 余ハ九時十分ニテ帰ル
練習生同乗飛行アリ

▲▼264ページ▲▼ 大正8(1919)年9月4日(木)

天気晴

阿部、竹内、宮尾來 竹内君同乗飛行ス 稲垣佐野モプレシヤーゲージ新品ヲツケシ
モヤハリ針下ガラス 三名ハ夕方帰ル
大石眞子ナル人來 ボート用プロペラ設計料ヲ三十円受取ル

▲▼265ページ▲▼ 大正8(1919)年9月5日(金)

天気晴

水谷ノ叔父來 十五円受取ル 中學卒業迫待ツテ呉レトノコトデアッタ
帳簿ヲツケル
久保田ガプレレンノ修理ガ高イト云ウフタノデ無体シヤクニサワツタノデ高ケレバタゞ呉
レテヤルト頭カラ云ツテヤッタ 終日氣持悪ルカッタ
川上退所スルニ附保証金返置ス
ゴーハム試験後分解ス

▲▼266ページ▲▼ 大正8(1919)年9月6日(土)

天気晴

九時ニテ上京 ゴーハムノハブ持參 新品ヲ作ルコトニス 十一時半日本俱樂部ニ行 藤
原同伴
打合四時ニ終ル 夕食鳥飼氏ニ精養軒ヲ馳走ニナル 百五十一日モ早く引取ルコトヲタ
ノム

▲▼267ページ▲▼ 大正8(1919)年9月7日(日)

天気晴

終日在宅

▲▼268ページ▲▼ 大正8(1919)年9月8日(月)

天気 晴

上京第二鶴羽發送ス

ゴーハム分解ニゴーハムト高橋氏ニ出張ヲ乞フ 宮本喜與藏氏ニリバーチー買入方依頼
信用状態買入レノ方法等ヲ話ス 百五十馬力ヲ擔保ニスルコト
ガストンノ白林氏ニ會フ 欧米ニ旅行スル由

▲▼269ページ▲▼ 大正8(1919)年9月9日(火)

天気 曇

高橋氏來 ゴーハム來ラズ

ゴーハム式分解 夜船橋ノツタ家へ一泊ヲ乞ヒ自分モ行ク 十二時帰ル
風強シ

▲▼270ページ▲▼ 大正8(1919)年9月10日(水)

天気 雨

終日雨 ゴーハムオイル道ガ不完全ニツキ直ス 午後組立ニカゝル
山県無事酒田飛行終ル

▲▼271ページ▲▼ 大正8(1919)年9月11日(木)

天気 雨

上京 太田へマグネットノシヤフトヲ依頼ス

佐藤ニ立寄り鳥飼ニ行ク 山県モ帰ツテ居タ 宮本氏ニモ會フ 丁度コレカラ白林ニ會ヒ
ニ行クトノコトニ尚ヨク依頼シテ帰ル

▲▼272ページ▲▼ 大正8(1919)年9月12日(金)

天気 雨

十一時頃ヨリ千葉病院へ姉ノ見舞ニ行ク 大分ヨサソウデアッタ 大口ガ來タノデニ時
半頃迄話シ共ニ晝食ヲスベク末広へ行キ一杯ノム 夕食 暗クナツテ帰ル 汽船橋迄乗
越シヤムヲ得ズ宿ル

▲▼273ページ▲▼ 大正8(1919)年9月13日(土)

天気 曇り

六時十一分下りニテ帰宅

晝頃迄眠ル

信太郎船橋ノ醫師ニツレニ行ク ヤハリ百日セキナリト

▲▼274ページ▲▼ 大正8(1919)年9月14日(日)

天気 雨

今日ハ風東南ニ変ジ疾風トナリ夜ハ雨ヲ交エ物スゴカリキ

高橋氏一日來 夕食後帰ル

グレゴア大ニ目立チテ出來上ル

▲▼275ページ▲▼ 大正8(1919)年9月15日(月)

天気 曇風

午後風ヤ、風ギタ

ゴーハムプロペラボス出來テ居タ

山県ゴーハム休日ニモカ、ワラズヤツテ居タ

▲▼276ページ▲▼ 大正8(1919)年9月16日(火)

天気 雨

終日尚降ツタリ止ンダリシテ居タ

山県ゴーハム 自分ハグレゴアノ金物ヲヤツタ

佐野青島ホールスカット

平居インディアン

鳥飼氏カラ百五十ノ話先方病氣ノ爲ニ三日延期トノコト

▲▼277ページ▲▼ 大正8(1919)年9月17日(水)

天気 晴曇

鳥飼氏來

グレゴア塗料 第一回ヲヌル 後金物

信太郎注射二行ク
夕方大口來

▲▼278ページ▲▼ 大正8(1919)年9月18日(木)

天気 晴

塗料ヲ塗ル

大坂ノ藤生氏ノ名刺ヲ持チ菅ナルモノ來ル 兎ニ角止メ居ク

▲▼279ページ▲▼ 大正8(1919)年9月19日(金)

天気 曇リ

グレゴア仕事

▲▼280ページ▲▼ 大正8(1919)年9月20日(土)

午前中福永ノ仕事 午後上京 注作品ノ注文ヲナシ七時ニテ出發ス

▲▼281ページ▲▼ 大正8(1919)年9月21日(日)

天気 晴

八時大坂着 九時帰宅 井上君ニ會ヒ晝兄ニ會ヒヨク頼ム 明朝話シスルトノコト

▲▼282ページ▲▼ 大正8(1919)年9月22日(月)

天気 晴

朝竹島主人ニ會ヒ五千円借ル 千円兄ヨリ借リル 前中、佐本店ニ行ク 西店主人夕方會フ 中山氏モ有リ西店八九月ニテ十五六万残りタル由 主人モ大ニ乗氣ナリキ 夕食後八時ニテ出發ス

▲▼283ページ▲▼ 大正8(1919)年9月23日(火)

天気 晴

時事 陸軍松原中尉アブロニテ落即死 松岡中尉重傷

九時東京着 鳥飼へ四千円渡ス 百廿五支拂済ミ百五十二千円手金行ツタコトニナリ
アト四千円ヲ十式月迄二分ケテ渡スコトニ決ス

阿部ト帝国飛行協会住友銀行佐藤ツバメニ立寄り四時半徳永氏ト同車シテ帰ル
本日午前十日(ママ)頃二時間飛行ヲナス 成績良好

▲▼284ページ▲▼ 大正8(1919)年9月24日(水)

天気 曇雨

午前飛行アリ 中君福永君同乗ス
晝食後千葉ニ行ク 大ロヲ見舞ヒ菅ノ入院ヲ見金十円ヲ與ヘ白戸ニ行ク 一昨日帰ッ
タトノコト 夕食後帰ル 廿七日祝賀會ヲヤル由

▲▼285ページ▲▼ 大正8(1919)年9月25日(木)

天気 雨

カバローヤル

稲垣氏ヲ見舞ニヤル

▲▼286ページ▲▼ 大正8(1919)年9月26日(金)

天気 晴

グレゴアカバローヤル 午後三時頃大坂ノ父兄來ル 今夜スグ帰ルトノコトニ上京ス 鳥
飼氏ト築地ニテ會食 九時ヲ見送り帰ル 中山ヨリ眠クテ津田沼ヲ通過シ千葉ニ泊ル

▲▼287ページ▲▼ 大正8(1919)年9月27日(土)

天気 晴

終日グレゴアニカハルツモリノ處ニ日ヨイニテ何ニモ出來ナカッタ 夕方ヨリ一同ト白戸
氏ノ祝賀會ニ行ク 途中夕立ニテ困ル 夜十一時帰宅

▲▼288ページ▲▼ 大正8(1919)年9月28日(日)

天気 晴

グレゴアカバー出來上ル

佐伯氏太田氏來 晝食後帰ル

▲▼289ページ▲▼ 大正8(1919)年9月29日(月)

天気 晴

ゴーハム分解 オイル道ヲ調ベル
夜高橋氏來 二時過ギ迄右同ジク 大ニ確信ガツク
ゴーハムノペラ設計 機体ニマークヲ附ス

▲▼290ページ▲▼ 大正8(1919)年9月30日(火)

天気 雨

機体ノマークヲ書キ
グレゴアプレーン組立ヲナス
鳥飼氏來

▲▼292ページ▲▼ 十月

郵便飛行

百五十馬力製作
グレゴア試験
ホールスカット仕上リ試験練習

▲▼293ページ▲▼ 大正8(1919)年10月1日(水)

天気 曇リ

朝晴レカヽツタガ後曇リ夜雨
グレゴア組立ヲ見、ソレヽ、打合セヲナシ十二時ニテ上京 木材ノ買入レヲナシ五時ニ
十分ニテ上京
過日來少々変ニ思夕陰部ヨリ今日ハノーガ出テ來タ 吉ニモスグ洗ワセ注意ス
平井明後日帰ルトノコト

▲▼294ページ▲▼ 大正8(1919)年10月2日(木)

天気 晴曇

七時着 帰宅 入浴 中島氏ニ電話ス 田中竹島西ニ行ク 晝頃中島氏來 共ニ晝食
後山県氏ヲ訪ヒガンリンパイプノツギ方ヲ相談ス サシツカエナシトノコトニ大ニ安心ス。
永井旅館ニ徳永氏ヲ訪ヒ朝日ニモ立寄り佐渡島西店ニヨリ帰宅ス
夕食後皆ハキ出シタノデカタガコリ過ギタノダロトノコトニアンマヲ取ル

▲▼295ページ▲▼ 大正8(1919)年10月3日(金)

天気 曇り

曇リタレドモ午後ヨリ次第第二晴レ來ル 天候ハ大丈夫ノ様ナリ

飛行機ノ安否ワカラズシキリニ打電セシモツヒニ返來ラズ 明早朝電話スルコトニス

▲▼296ページ▲▼ 大正8(1919)年10月4日(土)

天気 晴

今日ニカギリ上天気 ㄞタ、トバカリ練兵場ニ行ク 徳永大佐外皆スデニ居ラル 大佐ト着陸順(ママ)備フト、ノエル内白八時五十六分出發 赤發動機調整中トノ入電アリ 白八即チ山県ナレバイヨ、ノ万歳ト時計ヲ見ルニスデ二十時 最早箱根ハスギタルベシト嬉(ママ)ビ勇ム内應援團ハ自動車ニテ續々繰込ミ中島氏ノ方ト引替へ大三ギヤカナリ 其内第二報トシテ戸塚迄行キシモ濃霧ノ爲メ引返セリトノコトニ大ニ失望 皆ソレ、ニ引取ル

▲▼297ページ▲▼ 大正8(1919)年10月5日(日)

天気 曇風

晴 雲低ク風強シ 早朝協会員ト会谈 帰宅 兎ニ角練兵場ニ行クベク仕度中中止ノ報アリ 午後風力益々ツヨク矢野ニ命ジ天幕ヲカタツケサセル 東京ニテモ風ツヨク午前飛行機ハ津田沼へ引帰セリトノコトナリ

▲▼298ページ▲▼ 大正8(1919)年10月6日(月)

天気 曇風

朝起キルナリ協会ニ行ク 今日午後三時ニテ帰京スルトノコト 徳永氏モ大分フンガイシテ居ラレタガ自分トシテモ理由ヲ明ラカニセズ引上ゲシ仕舞フコトニツキ尚且ツ吾人ニ何ノ通知 ヲセオ打合セモナキコトニツキ大ニフンガイスルト同時ニ小主人ヲ問ヒ万ニ協会ガ要領ヲ得ザル場合ハ固(ママ)人トシテ決行スベク其上ハ協会ヲ大改造スルカ自分等ガタオレルカ迄返(ママ)対運動ヲ起スコトヲ相談シ七時ニテ太田ト出發ス

▲▼299ページ▲▼ 大正8(1919)年10月7日(火)

天気 晴

八時東京着 終日大雨 先ヅ鳥飼ニ行ク 広島ノ父モ來才今來夕處ダトノコト 阿部ニ付キ午後協會ニ打合せ会アリ 四時頃行キテ長岡閣下ニ會フ 當方ノ都合六十二日池田飛行会アレドモ協會ノ方十二日ニヤルナラ池田ハ二十日ニ延期スベク十五日以後ト云フコトデアレバ池田ヲ十二日ニヤルカラ十七日ニシテ貫ヒタイト延(ママ)ベ明日通信省ノ打合せノ上決定スベシトノコトナリキ 因ニ中止原因ハアク迄郵便飛行ヲ行クフベク其爲メ一度返送セル郵便ヲ再ビ受付ケル迄ニ一週間以上ノ日数ヲ要ストノコトニテ一時引上ゲタルナリトノ回答デアッタ

▲▼300ページ▲▼ 大正8(1919)年10月8日(水)

天気晴

手紙ヲ書キホールスカットヲヤル

▲▼301ページ▲▼ 大正8(1919)年10月9日(木)

天気晴

兄上京セリトノ報アリ 午後電報ニヨリ上京ス 協會十七八日ノ様ニ新聞ニ見エシニ廿日過ギトノコト阿部ニ聞ク 佐野材料トホールスカット引取りノ爲メ早朝上京 余ハ終列車ニテ帰ル

▲▼302ページ▲▼ 大正8(1919)年10月10日(金)

天気晴

高橋氏同乗 東京訪問飛行中廻轉ヲ計ル 約千二百ナリ 一寸非(ママ)觀ス サレドモ調子頗ルヨシ 本日百五十馬力引取ル 鳥飼宅迄 山県ノ父來 晝食中兄三人程仲間内ノ人ヲ連レテ來ル 稲毛ヘデモ行ク予定ノ處スグ 帰京ス

▲▼303ページ▲▼ 大正8(1919)年10月11日(土)

天気晴

今日ハ兄ガ來ルカト思ツテ終日待ツタガツヒニ來ラズ 記帳ヲナス

▲▼304ページ▲▼ 大正8(1919)年10月12日(日)

天気 晴

インディアンズリ合セヲナス 夕方廻ス 調子ハマダ出ナカッタガ兎三角廻リ出シタ
プロペラヲ塗ル。ホールスカットプレシ張リ
夜練習生モ夜業ス シルコヲ馳走ス

▲▼305ページ▲▼ 大正8(1919)年10月13日(月)

天気 曇雨

七時半ニテ上京 佐藤阿部ニ立寄り森氏ニテ兄ノ所在ヲ聞クモ知レズ 鳥飼ニ行ク 丁
度居タ 阿部ニモ會フ サークス飛行當方ノ條件ニテ宜シク 百円手金受取ル 協会ニ
行キ小林少佐ニ旭日ノ件聞ク 更ニ績(ママ)任アル返答ヲナサズ大ニシヤクニサワリシヲ
十五日ニ再ビ聞キニ行クコトニシテ帰ル
福永帰坂ス

▲▼306ページ▲▼ 大正8(1919)年10月14日(火)

天気 晴

記事ナシ

▲▼307ページ▲▼ 大正8(1919)年10月15日(水)

天気 晴

久シ振リニテ休業ス

▲▼308ページ▲▼ 大正8(1919)年10月16日(木)

天気 晴

記事ナシ

▲▼309ページ▲▼ 大正8(1919)年10月17日(金)

天気 晴

塗料ホールスカットヲヤル
白戸來 晝食後共ニ帰ル 余ハ山県ト成田ニ参拜シ帰途千葉ニヨリ加納屋ニテ再ビ白戸
高橋両氏ト夕食ヲ共ニス

▲▼310ページ▲▼ 大正8(1919)年10月18日(土)

天気 快晴

十二時帰宅後

協会不徹底ノ節ハ單獨飛行ヲナスベク山県鳥飼ト打合セシテ出發ス
夜協会改造第一回ノ會合ニサ、ヤへ行ク 九時出發ニ付高木氏口(ママ)濱中失礼ス

▲▼311ページ▲▼ 大正8(1919)年10月19日(日)

天気 快晴

十二時帰宅後佐渡島ト太田竹島へ顔ヲ出シ夜早く床ニツク

▲▼312ページ▲▼ 大正8(1919)年10月20日(月)

天気 晴

一點ノ雲ナク良好ナリシモ浜松以東雨天ニテ中止サル 各新聞共ニ皮肉ヲ書ク 大日
日新聞コトイ甚ダシ 大ニシヤクニサワル

▲▼313ページ▲▼ 大正8(1919)年10月21日(火)

天気 晴

一點ノ雲ナク好天気ナリ 場ニ行ク 協会員出張セズ。栗原氏モ非常ニ心配セラル。協
会ニ電話セシニ昨夜十時頃東京ヨリ天候險悪ノ込兆アリ中止ストノ打電アリタル由告
ルニ今朝鳥飼氏ヨリハ六時半イマ天気良クナリツ、アリゼヒヤラセルツモリトアリ 後チ
協会ハ今日モ延期スルト雖モ天気良好今日ヤル様ワレ運動中トアリ 最後ニ〇時五十
分発ニテ今日天気ヨイノニ延期シタカラ協会ヲ大攻撃シタ新聞デ見ヨ明日ニナリタト
ノ電アリ 午後二時練習場ヲ引上げ

▲▼314ページ▲▼ 大正8(1919)年10月22日(水)

天気 晴

三時天候ヲ見ル 無類ノ上天気 先ヅ入浴シテ氏神ニ参拜シ場ニ行ク 風強ク協議中
トノ電アリ 後チ十時四十五分飛行開始 同五十分水田中尉 五十五分山県 五十
九分佐藤出發ノ報相ツイデ來ル

水田佐藤ハ小田原、三島、静岡、濱松通過ノ報相次イデ來ルニ山県ノ報告更ニナク心
痛ス 一二時頃ニ至リ漸ク静岡一時五分通過ノ報アリヤ、安神(ママ)セシモ時間ノ余リニ

長キニ着ヲ心配ス 再ビ浜松通過ノ報アリ 其時間ヲハカルニ佐藤ヨリ二分早シヤット愁眉ヲ開ク 一時二十分水田津通過ノ報アリ 一機見ユ。然ルニドウモス。パンガ長過ギルノデ佐藤ナルコトヲ知ル 着陸後ハタシテ佐藤デアッタ 約一時間遅レテ山県來 一同キヨ一氣シテ出迎フ 水田和歌山ニ着陸ス

▲▼315ページ▲▼ 大正8(1919)年10月23日(木)

天気 曇晴

三時天候ヲ見ル 頗ル良シ 五時起床 氏神ニ参拝シ六時過ギ山県ト場ニ行ク直チニ余ハ機体ノ點検ヲ着手シ山県發動機ニカ、ル 二三写真ヲ取り九時用意成ル 十時十分佐藤君出發 同廿八分山県發ス 奈良、津ノ報告ハ佐藤ト同様ニアリ 浜松ノ通知ヤ、遅レル 静岡千四百米ニテ通過ノ報アリ安神(ママ)ス 小田原ノ報アリ 後チ二時半頃無事着ノ報アリ 直チニ各方面礼廻リヲナシ帰ル 七時十二分ニテ出發ス 広子大坂病院へ午後二時入院ス 姉(ママ)炎ト腸チブストノコトナリ 出發前見舞フ 竹島主人ヨリ自分三三百円寄贈アリ 山県ニ與ヘル 晝前水田君飛行來 連續宙返リヲナス

▲▼316ページ▲▼ 大正8(1919)年10月24日(金)

天気 曇リ雨

沼津以東雨デアッタ 水田中尉ノ不幸ニ同情ス 八時東京着 青島駅迄出迎フ 鳥飼宅ニ入ル練習生ニ會フ 朝食後祝賀会ノ打合せヲナス 明日午後五時ヨリ池洲ニテ行フコトニナス。午後一時過ギ阿部來 右通知方ヲ依頼ス。サーカス飛行依頼アリ 前通りニテ洲崎ヨリ帰場ノ際飛行スルコトニテヨケレバ明日ニテモ行フコトヲ承認ス 夕方帰ル 佐野千葉白戸へ通知セシム

▲▼317ページ▲▼ 大正8(1919)年10月25日(土)

天気 曇リ

手紙ヲ十通バカリ大坂へ礼状ヤラ何ニヤラ書ク。十二時五十分ニテ上京 五時ヨリ宴會ニ付四時半池洲ニ行ク 高木大佐第一番ニ來場 約三十余名 盛會デアッタ 終列車ニテ帰ル

▲▼318ページ▲▼ 大正8(1919)年10月26日(日)

天気 晴

水田中尉十一時過ぎヨリ帰還飛行ヲナシ二時間四十分ノレコードヲ作ル
記帳ヲナシ後ホールスカットヲ手傳フ
山県夜帰ル 大坂ヨリ電報アリ 來月ノ飛行馬力が少ナイ爲メ負ケルナラ四百馬力ヲ
買フテヤルトノコトデアッタ。

▲▼319ページ▲▼ 大正8(1919)年10月27日(月)

天気 晴

午前七時ニテ上京 鳥飼氏ニ行き協会へ電話ヲカケル タレモ居ラズ不都合千万ト思フ
タ 後一時頃電話ヲカケルト北尾ガ居タノデ折角呼ビヨセテ、ケンカラントナジルトス
グヤツテ來タ 何ソノコトダ僕ノ履歴ヲ聞クダケノコトデアッタ
阿部ニ行き繪葉書ヲ注文シロールスロイスノ話シヲサセル 帰途原ボールト店ニテ二分
五ノノビス捻二十本 二分一寸五分百五十吋坐金四枚受取り帰ル。中七二ペラト桜ヲ
注文シ、佐藤ニテ12ピヤノ線一ノ印、線帯、パイプ等ヲ求メテ五時廿分ニテ帰宅ス

▲▼320ページ▲▼ 大正8(1919)年10月28日(火)

天気 雨晴

午前一寸ヤレ、仕事ガ手ニツカナカッタガエンジンシートヤ、車輪ノハブナドヲヤツタ
夜ハ夜業ヲサセ自分ハ記帳ヲナス
宮内上京 佐藤へ三百円取りニヤル 佐藤へピントボールト注文ス
大坂ノ兄へ四百馬力ノ返出ス 都合ニテ來月帰坂ス
謝文達夜來 ゴーハム受渡シニツキ話ス

▲▼321ページ▲▼ 大正8(1919)年10月29日(水)

天気 晴

山県福永海へ鉄砲打ちニ行ク
自分ホールスカット操縦線ヲ張ル
夜福永ノ送別小宴ヲヤル
夜洪君來 將來ニツキ想(ママ)談アリ 十時頃迄話シテ帰ル

▲▼322ページ▲▼ 大正8(1919)年10月30日(木)

天気 晴

エンジンシート取付ヲナス 晝食後上京 バシヨウヤト佐藤ニ立寄り鳥飼ニ行キ散髪ヲナス
六時松本楼ニ行ク 來會者約七十名 井上中将ノ挨拶 山県ノ答辞 後子数氏ノテ
ーブルスピーチアリ 九時辭シテ帰ル 十時ノ列車ニ乗ル 山県東京ニ泊ル

▲▼323ページ▲▼ 大正8(1919)年10月31日(金)

天気晴

仕事ヲ手傳フ

青島夕方ヨリ水戸ニ行ク

▲▼324ページ▲▼ 補遺

郵便飛行終リ

ホールスカット出來ズ

百五十馬力仕事ニカゝル

グレゴア引渡シ代金受取ル

▲▼325ページ▲▼ 十一月

百五十馬力完成

ホールスカット練習

▲▼326ページ▲▼ 大正8(1919)年11月1日(土)

天気 曇後雨

本日ハ帳簿整理ヲナス 工場ハ休ム

式三練習生午前中來リテ仕事ヲナス

鳥飼氏朝來 山県海ニ行ク 夕方阿部來 次ギニ数見氏友人ト來ル 夜七時頃帰ル

▲▼327ページ▲▼ 大正8(1919)年11月2日(日)

天気晴

午前中仕事ヲ手傳ヒ帳簿整理ヲナシ午後千葉ニ行キ病院ヲ見舞ヒ白戸ニ行キ夜帰ル

▲▼328ページ▲▼ 大正8(1919)年11月3日(月)

天気 晴

十時ニテ上京 佐藤ニ立寄り台湾銀行ニテ三千円也謝ヨリ受取ル
二時四十五分通信省ニ行ク。少時休息ノ後式場ニ入 隈侯來 ヤ、待ツテ宮殿下着席
セラル カタノ如ク式終リテ帰宅 六時半大松閣ニ行ク 林家藝妓ノカツポレノ替歌大
ニヨシ 九時帰ル 鳥飼宅ニ泊ル

▲▼329ページ▲▼ 大正8(1919)年11月4日(火)

天気 雨

大降りニテ困難ス 花月、森、阿部、井上、高木 アート商会ニ自動車ニテ廻ル 晝終
リ協会ニ行ク 遠巨(ママ)離飛行ノ相談 期日ノ件 自分ノ方ハ來月廿日以後ニセラレ
タキ旨ヲ乞フ 結果廿日以後二三週間以内ニ行フコトニナル 他ノ参加者ニツキ色々話
アリタリ 尚一搬(ママ)的ノ飛行會開催ノ件ヲ自分ハ主張ス
鳥飼ニ帰り勘定ヲナス 四時白戸ト約束ノ場所ニ行ク 晝カラ待ッテ待チクタブレタト
ノコトデアッタ 六時ニテ帰ル

▲▼330ページ▲▼ 大正8(1919)年11月5日(水)

天気 晴

精算ヲナシ配當ヲ行フ 自分ノ純益約一千円也
大坂ヘモ右報告ヲナス
ホールスカットプレン取付ヲナス

▲▼331ページ▲▼ 大正8(1919)年11月6日(木)

天気 曇後晴

午前ホールスカットプレン取付ヲ手傳フ
晝食後上京 佐藤ヘ注文ヲ発シ鳥飼ニ行ク 宮本組ニ一寸行き六時半亀清ニ行ク セミ
ヨノフ軍ノ瀬尾君モ同席デアッタ 高尚ナ遊ビ振りデアッタ 九時十分ニテ帰ル

▲▼332ページ▲▼ 大正8(1919)年11月7日(金)

天気 晴

終日仕事ヲ手傳フ
夜帳簿整理ヲナス

▲▼333ページ▲▼ 大正8(1919)年11月8日(土)

天気 晴

手紙其他ヲ整理ス

伊丹恭君ヨリ手紙來 小石川ニ居ルトノコト 郵便飛行成功ニ対シ和歌ガ書イテアッタ

▲▼334ページ▲▼ 大正8(1919)年11月9日(日)

天気 曇リ

ホールスカットノカバーヲヤリ

十二時六分ニテ上京 宮本組ニ行ツタガ日曜デベアッタ 日比谷ノ菊ヲ見ル。小栗ト高木氏が見エタ 共ニ中央亭ニ行ク 來會者三十五名 十時迄自分ハ居タガ汽車ノ時間デ先キニ辭シタ 決定事項五ヶ條アッタ

▲▼335ページ▲▼ 大正8(1919)年11月10日(月)

天気 曇リ

北風デ寒カッタ

ホールスカットノカバーヲヤル 終日カハル

東京ノ亀井戸ノ學校カラ學生ガ沢山來タ ゴーハムヲ飛バス 二回目ニ謝ヲ同乗シ千葉ヘ行ツタ 二時頃帰ツテ來タト思ツタラノームガ來タノデハット思タラハタシテ水タマリニ逆立シペラヲ折ツタトノコト 豫備ヲ取りニ來タノデアッタ モタセテヤツタガ汐ガ出デ來タノデトテモ帰ルトハ思ワナカッタ 夕方青島ト洪ヲヤル

▲▼336ページ▲▼ 大正8(1919)年11月11日(火)

天気 雨

昨夜ノミ過ギテ今朝モ八時頃起床 終日カバーニカッタ マダ出來上ラナカッタ
明日宮内終ルトノコトデアッタ

今日ハ第一師團ノ演習デ終日兵ガ往來シテ居タ
ゴーハム雨ノ爲メ帰レナカッタ

▲▼337ページ▲▼ 大正8(1919)年11月12日(水)

天気 曇り

信太郎セキ直ラズ船橋ニヤル 夜ヤ、ヨシ
カバーニ終日ツヒヤス

▲▼338ページ▲▼ 大正8(1919)年11月13日(木)

天気 晴

カバーヲヤル 晝過ぎ出来上ル
ゴーハム帰ル
宮内本日暇ヲヤル

▲▼339ページ▲▼ 大正8(1919)年11月14日(金)

天気 曇り晴

午後ハ帳簿整理ヲナス 午後余暇ヲ得タノデ久シ振リニ庭ノ手入レヲ一寸ヤツタ
夕方杉本帰ル。平岡共ニ來 鳥飼氏モ來ル 大正日日新聞ノ飛行ノ件並ニ杉本飛行ニ
ツイテデアツタ 鳥飼氏ハ自分ニマカセテ帰ル 杉本ハ如何ニモ日ガナイノデ到底ダメダ
ルート宣言シテ居ク 大正日日ノ方モ日ガナイノデ如何カト思フガ明日ノコトニシタ

▲▼340ページ▲▼ 大正8(1919)年11月15日(土)

天気 曇後晴

白戸氏ト約束アリ八時三十七分ニテ共ニ上京 自分ハ佐藤ニ立寄り鳥飼ニ行き阿部ニ
テ白戸君ヲ待合ス。約一時間 其間井上閣下、宮本組等ノ話シヲ聞ク 晝食後鳥飼ニ
行き知覧君ニ陸軍ノ話シヲ聞ク
夜八時十分ニテ共ニ帰ル

白戸ト種々話シヲナス 即チ學校部共同経営ノ件 明日來ルコトニ約束ス

▲▼341ページ▲▼ 大正8(1919)年11月16日(日)

天気 晴

鳥飼氏來ル 海へ獵ニ行ク 夕方帰ル
晝頃白戸來 學校部共同白戸君ニ意志ナク中止。合資会社設立ノ件ヲシキリニ進ム
夜帰ル

稲垣氏ト夜十一時頃規模増大ノ想(ママ)談ヲナス 晝頃北島精一ナルモノ來リ夕食
後帰ル 飛行機ニ同乗シテ東京ヲ飛ンデ呉レトノコトナリシ由 不可能ニ付コトワル

▲▼342ページ▲▼ 大正8(1919)年11月17日(月)

天気 曇り

ホールスカット試験飛行 直線ノミ

杉本照井滑走セシム 杉本予定通り行ケト照井出來ズ中止ス
終日予算ヲツクル

▲▼343ページ▲▼ 大正8(1919)年11月18日(火)

天気 雨

白戸ノ妻君來 二三時間ニテ帰ル

ホールスカット發動機試験 レイフイールドニテナス
調子ヨシ サレドモカーブレーターパイ開キ得ズ

▲▼344ページ▲▼ 大正8(1919)年11月19日(水)

天気 晴

久シ振リノ好天気トナル 船橋ノ要ノ助ヲ見舞ヒ九時ニテ上京 車中徳永氏ニ會フ

郵便飛行会社ノ予算表送附ヲ依頼 承知サル

佐藤ニ行ク 主人居リ陸軍納入ノ件ニツキ話シ大ニ進ム 夕方會フ約束ヲナセシモ自分
遅クナリ電話ニテ明日ヲ約ス

阿部ニ會ヒ井上少将ニ陸軍ノ方針聞クコト 知覧大坂帯(ママ)在ノ日数ヲ聞クコトヲ命
ズ

帰途鳥飼ニテ夕食ヲ馳走ニナル 將來ニツキ自分ノ思フ通りニマカセルトノコト

白戸ト合同ニツキ不賛成ノ旨モラシ居タリ

▲▼345ページ▲▼ 大正8(1919)年11月20日(木)

晝迄所用 午後上京 鳥飼ニ行ク間ナク阿部來 陸軍方面約束ハ出來ナイガ注文ノ見
込アリ 井上少将ノ話シヲ聞ク。中七ニ行キ

▲▼346ページ▲▼ 大正8(1919)年11月21日(金)

天気 曇後晴

杉本練習滑走数回 同乗直線四回 單獨ジャンプ一回 成績頗ルヨシ

學校部並ニ製作部ノ決算ヲナス
午後成田山参拝

▲▼347ページ▲▼ 大正8(1919)年11月22日(土)

天気晴

朝曇リ 杉本練習七回 直線成績ヨシ
晝食後出發

洪飛行機買入レノ件ニテ話シ長ク閉口ス

上京 山県ニ會フ 夕方阪振会最(マ)非ニトノコトニ一寸十分バカリ出席ス スベテノコトハ実行委員ニ任ス タゞ今申込ミ済ミノモノダケハ自分ノ名前デ取消ス訳ニ行カヌト云ツテ居ケ
七時半ニテ出發ス

▲▼348ページ▲▼ 大正8(1919)年11月23日(日)

天気晴

七時半京都着 スグ杉本ニ行キ一時間バカリ話シ安藤市長ニ礼ニ行ク 不在 十時半デ帰坂 スグ練兵場ニ行ク 第二回ノ飛行中デアッタ 井上中尉知覧高左右等ニ會フ 藤原ノ發動機コワレタ由 ソレニ付田村ノ飛行機ノ話シアリ 一森君ニユヅルコトニス 夜帰宅 父ト夕食ヲ共ニス

▲▼349ページ▲▼ 大正8(1919)年11月24日(月)

天気曇リ

朝雨後曇リ 午前日記ヲツケ竹島ニ挨拶ニ行ク 十時半帰ル 晝食後佐渡島本店ニ寄り西店ニ行ク 不在 明日ヲ約ス 井上君ニ電話カケル 一時間ホドシタラ行クトノコトニ病院行ヲ中止シテ帰ル 五時頃來ル 知覧君ト三人ニテ雁風楼ニテ夕食 新世界ノ塔ニ登リニコニコニ行ク 阿部ヨリ電報アリ 晝迄營業稅ヲ要スル由 山県ヨリ電報アリ 機積出シタル由

▲▼350ページ▲▼ 大正8(1919)年11月25日(火)

天気晴

朝設立ニ関スル書キモノヲナシ病院ニ行キ帰途晝食後前中ニ立寄り西店ニ行ク 二時間バカリ話ス 他ニ葬式ニ行クトノコトニ中途ニテ帰ル 明日ヲ約ス

佐野ヨリ電報アリ 謝ヨリ金來リタル由 明日送ルトノコトナリ
夜裏ニテ馳走アリ 兄姉皆ソロツテヤル 父大ニ嬉(ママ)ビ久シ振りニジヨウルリヲ語ル
井上長君ニ會フ 岩名今日來ルトノコトニ過日ノ話シマツク一森ニ明朝來ル様打電ス

▲▼351ページ▲▼ 大正8(1919)年11月26日(水)

天気晴

午前佐渡島ニ行キ話シヲナス 竹島へ話シテ居イテ呉レ一度會ツテ研究スルトノコトデアツタ 大ニ勇ンダ

▲▼352ページ▲▼ 大正8(1919)年11月27日(木)

天気晴

今朝竹島主人ニ話シヲナス 例ニヨツテヨシトモ悪シトモ云ワレナカッタガヤ、有望ダロート思フ 晝食後深草ニ行ク 機着 練習生四名モ居タノデスグ組立ニ着手ス ヤ、シテ山県杉本來 プレンヲ取付ケ終ツテ宿ニ行キ宿泊ス
京都へ行ク前佐渡島ニ立寄ル 不在 手紙ト計算表ヲ置イテ帰ル

▲▼353ページ▲▼ 大正8(1919)年11月28日(金)

天気曇リ

七時場ニ行キ準備成リテ山県試験飛行 十一時頃ソレ、注意ヲ與テ飛行セシム 發動機マルデスローニテ上昇力ナク大ニ非(ママ)觀ス 一時ハ到底帰場シ能ワズト思ワレシモ無事着陸 大ニウレシカリシ 午後發動機調整ニ手間取り三時頃飛行 調子ヨカリシモ急イデ着陸セシ爲メ場所ヲアヤマリ逆立セシモシヤフトマゲタルノミデ無事ナリキ 藤原大ニ手傳フ

▲▼354ページ▲▼ 大正8(1919)年11月29日(土)

天気晴

八時半起床 帰京後ノ事ヲ山県ニ話シ朝鮮飛行ノ予算ヲ渡ス 神戸カラ女ガ來タラシカッタ 九時朝食後宇野氏ノ見送りニテ帰坂ス 午後兄ノ許ニ行ク 金物界不況ニテ大ニ非(ママ)觀ス

夕方活動ヲ見十時頃帰宅 床ニ入ル
今日ハ身体中ガ痛クテ困ツタ

月末ノ件ニツキ手紙出ス 洪ノ飛行機買ワザルベカラザル状態ニナル 井上氏來ル 依ツ

テ手紙出ス

▲▼355ページ▲▼ 大正8(1919)年11月30日(日)

天気 雨

竹島二行ク 一人位デハ困ルガ四五人以上ナレバトノ意見デアッタ 佐渡島へ行コカト
思タガ三十日ナノデ遠慮シタ
午後小供ヲ連レテルナパークニ行ク

▲▼356ページ▲▼ 補遺

百五十馬力製作中
ホールスカット杉本練習 故郷飛行ヲ終ル

▲▼357ページ▲▼ 十二月

製作所設立運動
百五十馬力完成
練習始メ

▲▼358ページ▲▼ 大正8(1919)年12月1日(月)

天気 曇リ少晴

藤原來 飛行機買取リタル由 晝食ヲ共ニシ予ハ佐渡島ニ行ク 本店財政アヤフク目下
スベテノ事業中止中ニ付意感(マ)ナガラ一万円迄ハ出スガソレニテ當分時期ノ來ル迄
關係ヲ斷チタイトノ希望デアッタ ガツカリシテ酒井、青木、野島氏ニ面會シテ夕方帰
ル

明日ノ策戦ヲ考ヘツ、十時頃床ニ入ル

▲▼359ページ▲▼ 大正8(1919)年12月2日(火)

天気 晴

朝吉田勝氏ヲ訪ヒ來意ヲ述ブ イヅレ其内トノ返事ニ打切リテ工場ニ行ク 兄ト將來
ヲ議シ夕方ツヒニ五次郎ニ秋田へ岸本氏へ話ス様意向ヲ聞キニヤル 明朝支配人阪本氏

二會フカラ返スルトノコトデアッタ
謝ヨリ金來 弍千五百円山口報ニテ送リタル由

▲▼360ページ▲▼ 大正8(1919)年12月3日(水)

天気晴

金受取り且ツ秋田ノ反(ママ)聞クベク工場ニ行ク前阿部二十四円送金 井上君ヲ訪ヒ
晝食ヲシニカキ舟ニ行ク 同君明日神戸ニ行クニ行 工場設立ニ関スル書類借りニ行ク
トノコトデアッタ
夕方工場ヨリ帰途製銅場ニテ一時間程話シテ帰ル 夜五次郎秋田ヘヤル 坂本支配人
追話シ同氏ヨリ岸本氏ヘ云フ訳ノ處今朝來岸本氏不在ノ由

▲▼361ページ▲▼ 大正8(1919)年12月4日(木)

天気晴

今日ハ終日ナスコトナク終ル 金又明日ニナル
リンコンヲ讀ム

▲▼362ページ▲▼ 大正8(1919)年12月5日(金)

天気晴

鳥飼氏ヘ發動機ノ代千円送金ス 住友銀行ヨリ二回西店ヘ行ツタガツヒニ會ハナカッタ
白戸來 神戸ニ發動機ガアルノデ見ニ來タトノコト 夜帰ツテ來タガ全然品ハナカッタ
由 入浴後カノヨニテ一寸二時間程サワイデ帰ル
阿部ヨリ手紙來

▲▼363ページ▲▼ 大正8(1919)年12月6日(土)

天気曇リ少雨

朝佐渡島ニ行キ千五百円貰ツテ中島君ト連レ立チ鳥佐ニテ中食ヲナス
午後白戸君ト工場ニ行キ製銅場ヲ見道頓堀ニ出テ活動ヲ見夕方帰宅 食後梅田辻見
送ル

▲▼364ページ▲▼ 大正8(1919)年12月7日(日)

天気晴

朝竹島ニテ式千五百円返還シ色々話ノ末漸進主義ニ同意ヲ得タルノミナラスソレナラ
應分ノコトモシヨウトノコトデアッタ 四百馬力ハ最(ママ)非買入レルコトニシタラヨカロ
ウトノコトデアッタ。晝食後久保田君ト京都ニ行ク 父君ニ會ヒ亀ノ助君ノ將來ノ依
頼ヲ受ケ貸金ノ三十円ヲ貰ヒ夕食ノ馳走ニナリテ帰ル

◆▼365ページ▲▼ 大正8(1919)年12月8日(月)

天気晴

今日ハ大正日日ノ坂田君ニ會ヒニ行ツタガ不在
夜五次郎ト新世界ヲ散歩ス

◆▼366ページ▲▼ 大正8(1919)年12月9日(火)

天気晴

長一君ニ行キ千五百円借入レ工場へ持ツテ行キ神戸ニ行ク 藤原ニ會フ 宮川君不在
トノコトニ來意ヲ藤原君ニ依頼ス 帰途住吉ノ佐渡島邸ニ立寄ル 丁度老主人モ居リ
少時會談シテ帰ル。一練習希望者來 話シテ帰ヘス六時半宅ヲ出テ七時十二分ニ乗車

◆▼367ページ▲▼ 大正8(1919)年12月10日(水)

天気晴

八時東京駅着 鳥飼ニ行キ鳥飼氏ニ打電シ後子宮本組ニテリバーテイヲ注文シ、此
度同組ノ顧問(ママ)トナリタルニ森少将ト會談ス。阿部ト晝食ヲ馳走ニナリ後チラン
チニテ阿部ト會談 四十円貸與ス
佐藤へ四百円支拂ヒ

◆▼368ページ▲▼ 大正8(1919)年12月11日(木)

天気晴

手紙ヲ整理シ大坂へ手紙ヲ数通ヲ出ス
午前六時半起床 掃除モヤツタ 鳥小屋モ方ツケタ 久シ振りデノンビリシタ氣持ニナ
ツタ 仕事ハ一向ハカ取ラナイ モドカシカッタ
佐野夜來 二時間程話シテ帰ル 百円ヤル

◆▼369ページ▲▼ 大正8(1919)年12月12日(金)

天気 晴

六時半起床

大坂ヨリ関口ナルモノ來ル 榮ノ處へ同居セシム フランクリン分解ノ爲午後佐野、菅上
京セシム

夜鳥飼一寸帰ル

▲▼370ページ▲▼ 大正8(1919)年12月13日(土)

天気 曇後雨

朝山県來 一時間バカリ話シテ十一時頃ヨリ千葉ノ白戸ヲ訪フ シキリニ会社設立策
ヲ論ジテ居タ 氣ノ毒ナ様ナ氣ガシタ
夕食ノ馳走ニナリ帰ル
村井菅夜帰ル

▲▼371ページ▲▼ 大正8(1919)年12月14日(日)

天気 晴

朝上京 鳥飼氏ニ行キ作振會ノ件阿部ノ件朝鮮飛行ノ件等ニツキ話シ晝食後帰ル
帰途買物ヲナシ夕方帰所 大ロガ丁度來テ居タ

▲▼372ページ▲▼ 大正8(1919)年12月15日(月)

天気 曇り後雨

鳥飼氏來 舟ノ獵ニ行ク ナニモ取レナカッタ
朝練習出來ズ山県一度飛ブ 午後鶴羽飛ブ 調子ヨシ
自分ハ庭ノ整理ヲナス 菊ヲ植替ル
白戸君來 夕食後帰ル 雨が大分降ツテ居タ
榮飛行機羽田ニ運搬ス 修理金全部受取ル

▲▼373ページ▲▼ 大正8(1919)年12月16日(火)

天気 曇後晴

大坂ヨリ野崎練習生夕方來ル
プロペラ塗料ヲヤル
夕方ホールスカット練習終ツテ薄暗ニ山県飛行 無事着陸ス
大坂ヨリ三千円借リタ 千五百円借シソカ皆送ロカト電報ガ來タノデ千五百円返シテ

ノコリスグ送ル様ト打電ス

▲▼374ページ▲▼ 大正8(1919)年12月17日(水)

天気晴

通信省へ返事出ス

晝前政雄氏ト堀氏來 晝食後帰ル 堀氏來春二月渡佛スル由

藤原、野島氏ニ手紙出ス

ホールスカットカ、リ悪ク夜山県夜業ス

杉本ヨリ清水焼茶器來ル 礼状ヲ出ス

▲▼375ページ▲▼ 大正8(1919)年12月18日(木)

天気晴

プロペラ塗料手紙其他

菅東京へ油取リニヤル。青島千葉へ箱ノ材料買ヒニヤル

昨日池田實ナルモノ來 金ガナイトノコトニトメ居キ照會スベク申渡シタル處昨日午後行違不明トナリ手分ケシテタ方追サガセシモワカラズ其旨国元へ通知ス

▲▼376ページ▲▼ 大正8(1919)年12月19日(金)

天気晴

練習アリ 午後風強クナル

大坂ノ兄へ四百馬力ノ予算ヲツクリ送ル 一万一千余円ニナツタニ六驚イタ

大坂ヨリ千五百円來ル

▲▼377ページ▲▼ 大正8(1919)年12月20日(土)

天気晴

風強ク練習中止

正午頃中島ヲ退所セル十四人組ノ首領連六名來ル 目下ノ中島飛行場其他ノ状況(ママ)ヤ、明ラカニナル 山県稲垣上京ト共ニ帰ル

朝村井二千五百円ノ小切手銀行渡リニ付鳥飼氏へ持参 現金ト二三日内ニ取替ヲ依頼ス

▲▼378ページ▲▼ 大正8(1919)年12月21日(日)

天気 晴

風アリ 材料戸棚出来上リ移転ヲナス
晝食後稲毛へ行ク 大口不在 酒ヲ馳走ニナリ廿八日ノ折二十注文シテ帰ル

▲▼379ページ▲▼ 大正8(1919)年12月22日(月)

天気 晴

八時五十分ニテ上京 車中白戸ニ會フ 鳥飼ニ行ク 晝食後千五百円受取り勘定ヲス
マセ宮本組へ酸素瓶注文シテ帰途買物ヲナシ帰ル 帰宅後夕食

▲▼380ページ▲▼ 大正8(1919)年12月23日(火)

天気 晴

練習アリ 北西ノ風強ク一回ヅヽニテ終リ
大口廿八日ノ折ノ件ニテ來ル
午後玉井君岡本外一名ヲ連レテ來ル 夕方帰ル
帳簿整理其他

▲▼381ページ▲▼ 大正8(1919)年12月24日(水)

天気 晴曇

晝迄帳簿整理
練習アリ 安岡ジャンプヨリ直線ニ至ル 謝、久保田ジャンプセシモ宜シカラズ
午後千葉白戸ニ行キ買物ヲナシ病院ニ花ヲ見舞ヒ白戸ニヨリ夕食後帰ル
帰宅後雨降ル

▲▼382ページ▲▼ 大正8(1919)年12月25日(木)

天気 曇後晴レ

練習アリ 風強ク二回ヅヽニテ中止ス
十一月ノ試算表ヲ作り
塗料試験ヲナス
夜戸川、後藤両氏來 後藤ハ山県戸川ト稲垣氏宅ニ行ク

▲▼383ページ▲▼ 大正8(1919)年12月26日(金)

天気 晴

時事 小栗氏洲崎二四回宙返ル
戸川後藤両君晝食後帰ル

▲▼3884ページ▲▼ 大正8(1919)年12月27日(土)

天気 晴

曇テ居タガツヒニ晴レタ 朝事ム所ノ賣物ガアルトノコトニ見ニ行ツタ 左官ノ親父ニ頼
ンデ上京シ各店ノ諸拂ヲナシ鳥飼ニ立寄りテ買物ヲナシテ帰ル
夕方小栗君ガ飛ンデ居タ 山県ガ見ニ來タノデー所ニ帰ル

▲▼3885ページ▲▼ 大正8(1919)年12月28日(日)

天気 雨

朝カラ雨 四時皆起床 仕度シテ餅ヲツキ初ム 余ハ昨夜如何ナルワケカ寢レズツヒニ
夜ヲ通ス 五時半起床 鏡餅ヲツクル
晝食ニ工場内ニテ百五十ノ機体ヲテーパールトシ忘年会ヲ催ス 盛会デアッタ 終ツテス
グ上京 六時着 鳥飼氏ノ忘年会ニ列シカツ作振会幹事会ヲモ兼ネル 磯部氏オクレ
テ來 大二賑フ 終列車ニテ帰ル 佐野山県同道

▲▼3886ページ▲▼ 大正8(1919)年12月29日(月)

天気 晴風

千葉ニ行ク筈ナリシモ風強ク中止ス 工場内ノ整理ヲナス
昨日作振会ノ決議ニヨリ後藤君ト福永ハ新シク飛行會ノ件手紙出ス

▲▼3887ページ▲▼ 大正8(1919)年12月30日(火)

天気 晴

朝起キルト鳥飼氏ガ來テ居タ 舟デ獵ニ行ク 余ハ白戸ニ新年飛行會ノ件ニツキ行ク
上京シタトノコトニ高橋君ニ話シテ帰ル 買物ヲナシ帰宅ス
帰宅後所内ノ整理ヲ見ル

▲▼3888ページ▲▼ 大正8(1919)年12月31日(水)

天気 晴

七時過ぎ起床 庭ノ整理ヲナシ障子ヲ張り夜お飾リヲナス
午後藤原、戸川、両氏來 後藤君練習ヲヤル ジャンプ一回滑走二回最後ニ直線一回
ステキニ工合ヨシ 夕食後帰ル
八時半床ニ入ル
帳簿手紙等ノ整理ヲナス

▲▼389ページ▼▲ 補遺

今年ハ予想以上ノ成功ヲ納メ得タ
山県ノ努力大ニ預リカアリタリ
佐野練習ヲ中止セシハ遺憾ナリキ
会社組織失敗ニ終ツタニハ残念ナリキ 明年ハアク迄陸海ノ注文取ルコトニ奮励セザルベ
カラス
所員人物ニ対シ大ニ意ヲ用ヒザルベカラス
學校部ニ対シテモ又考慮ヲ要ス

知人名簿 401～405 ページ

| 住所 | 電話 | 氏名 | 関係 |
|---|----------------|-----------|-----|
| 東京深川区西元町八番地 | 本所四四八 四四七 二二六六 | 河野商店 大江商会 | |
| 々四ッ谷塩町一ノ三二 | | 大江力 | |
| 東京海軍省内 機関大尉 | | 有坂亮平 | |
| 牛込区新小川町一ノ九 | | 台湾屋 | |
| 麻布区山元町五十九番地 中七 | | 中村七太郎 | 材木商 |
| 荏原郡大崎町居木橋二二三 | | 知覧健彦 | |
| 静岡縣駿東郡大岡村下石田 | | 安藤藤三郎 | |
| 大坂東区石町一ノ八 | | 藤井靖造 | |
| 東京市牛込区新小川町一ノ九 | | 荒瀬正人 | |
| 本所花町六番地三ツ目橋 | 本所三〇一四 | 田辺酸素製造所 | |
| 402 ページ | | | |
| 南区安堂寺橋通り二丁目 | | 青木照太郎 | |
| 東京浅草神吉町二番地 石坂由蔵方 | | 中野譽 | |
| 東京下谷区金杉上町九 | | 浅見富蔵 | |
| 大坂西区九條南通り二ノ一六七 境川交叉點西へ入 | | 大西光蔵 | |
| 紀伊田辺町 | | 佐野豊七 | |
| 麴町区一番町十一 | | 宮本喜與蔵 | |
| 京都市大和大路四条下 | | 久保田幸次郎 | |
| 淡路洲本町五丁目町役場前 | | 田村美雄 | |
| 大坂市南区塩町一ノ一九 | | 野島銀蔵 | |
| 東京小石川区久堅町七四ノ三一 横山徳方 | | 伊丹恭 | |
| 赤坂氷川町三十八 | | 小山保雄 | |
| 403 ページ | | | |
| 東京小石川区久堅町七四ノ三一 横山徳方 | | 伊丹恭 | |
| 清水谷停留所ソバノポストヲ谷ニ入り小石川小學校横ノ坂ヲ行キポストヲ左ヘマガリ初メテノ左ガワノ家 | | | |
| 京都市下京区大和大路四條南四丁目 | 小松町五五七 | 平岡達三 | |
| 西成郡鷺洲町海老江 | 土佐堀二七八八 | 八千代ゴム株式会社 | |
| 横須賀海軍航空隊飛行機隊 | | 山田忠治少佐 | |
| 々 隊附 | | 平松駒太郎少佐 | |
| 々 副官 | | 高原昌平 | |
| 々 々 | | 桑原 | |

| | | | |
|-----------------------|--------|------------|-----|
| 台中廳揀東上保大坑庄三八三 | | 謝春池 | |
| 京都市大和太路四条下 | | 久保田幸次郎 | |
| 大坂朝日 | | 佐々穆 | |
| 々 | | 藤木九三 | |
| 404 ページ | | | |
| 京都上京疏水秋月橋 | | 三谷與一郎 | |
| 東京市芝区新堀河岸三一 | | 森秀男 | |
| 日本橋区新右衛門町三 | 本局四六八八 | 平和商会 池田 高橋 | |
| 航空第一大隊第三中隊第五班 | | 宮内臣 | |
| 府下世田ヶ谷自動車隊一ノ七 | | 加藤順平 | |
| 浅草区神吉町一番地 | | 沢谷鑄造所 | |
| 神戸三菱造船所 | | 宇野信次 | |
| 々 兵庫吉田新田字濱山六十九番屋敷ノ内十四 | 内燃機工場 | 藤田巖 | |
| 東京小石川区原町一二〇 | | 東京計器製作所 | |
| | 浪花五八二 | 野村ケーブル線 | |
| 芝区露月町 | | 小松崎茂助 | 飛行帽 |
| 405 ページ | | | |
| 大坂北区上福島中五丁目 | 土一九九八 | 梁瀬工場 | |
| 金沢市茨木町二三 | | 角田他十郎 | |
| 神戸市江戸町百番館 | | グリヤース商会 | |
| 々 西町旧居留地三十六番館三 | | 宮川保吉商店 | |
| 大井町林附キ三三四ノ七 | | 戸川不二男 | |
| 麴町区平河町四丁目十三番地 | | 磯部鉄吉 | |
| 京都下鴨 葵商会内 | 宮崎□□ | 清水愛ノ助 | |

◆▼挟み込み 01 ページ◆▼

一代之中

三月十日ヨリ四月十日マデ

六月十日ヨリ七月十日マデ

九月十日ヨリ十月十日マデ

十二月十日ヨリ一月十日マデ

但シ凶日

子之日卯之日午之日酉之日

右ノ月日ハ悪時ナリ

外ノ年月日ハ平穩無事ナリ

◆▼挟み込み 02 ページ◆▼

■ ■ ナル時期

未ノ年二月十日ヨリ

大正九年ノ一月十日マデ

又ハ

亥ノ年二月十日ヨリ

翌年二月十日マデ

毎年六月ノ十日ヨリ

八月十日迄

十一月十日ヨリ

十二月十日マデ

イヅレノ月モ

未ノ日亥ノ日

右ハ開運之時期ナリ